写

平成３０年１０月２３日

嘉麻市長　赤 間　幸 弘　　様

嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会
会 長　　井 原　　徹

嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用に関する答申について

平成３０年２月２日付け、２９嘉地第６５４号にて貴職から諮問のありました事項に関し、本協議会において慎重に協議を行った結果、下記のとおり答申します。なお、協議の資料等については、別添「協議会参考資料」の通りです。

記

【協議結果】

１　嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進計画（案）に関すること

（１）校舎と敷地について

・ 旧福岡県立山田高等学校敷地内の建物については、老朽化や耐震性を考慮し除却すること。なお、除却にあたっては、福岡県による除却を要望すること。
・ 嘉麻市（旧山田町）が寄附を行った旧福岡県立山田高等学校敷地内の土地に関しては、寄附条件に基づき福岡県に返還を求めること。
・ 平成３０年７月６日（金）の豪雨により崩落した敷地法面及び市道については、速やかに復旧工事を行い敷地の安全性を確保すること。

（２）跡地の利活用について

・ 移住・定住を促進するための整備を行うこと。
・ 整備をする際は災害に対する安全性を十分に確保した上で実施すること。
・ 嘉麻赤十字病院に隣接している利点を最大限に活かし、嘉麻赤十字病院との相乗効果を得られるような整備（高齢者等の介護施設、災害時の備蓄スペース等）を検討すること。
・ グラウンド敷地は被災箇所の復旧が行われた後、前述の内容を考慮し検討を行うこと。

2　その他附帯意見

・ 土地の条件等を十分に整理し、更なる機能についても検討を行うこと。
・ 雇用創出について検討を行うこと。
・ 嘉麻赤十字病院の存続に関し、更なる要望活動を実施すること。

【協議会経過及び開催状況】

（１）第１回　嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会
　　日時　平成３０年２月２日（金）　１９時００分～２０時００分
＜協議概要＞
・赤間市長から各委員に委嘱書の交付を行った。
・会長は委員の互選により決めることとなっているが、委員より事務局一任との提案があり、お諮りをしたところ異議がなかったことから、事務局の提案で井原委員が会長に選任された。副会長は福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会条例第５条第３項の規定に基づき、会長の指名により三舩委員が選任された。
・赤間市長より会長及び各委員に諮問が行われた。
・今後のスケジュールや協議内容について通知を行った。

（２）第２回　嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会
　　日時　平成３０年３月１２日（月）１９時００分～２０時３０分
＜報告事項＞
・基本計画策定業務受託業者決定の報告。
・福岡県立山田高等学校跡地利活用に関する過去の検討の経過等の報告。
・県立高校跡地等利用庁内検討委員会における過去の協議の経過について。
・嘉麻赤十字病院の建替え存続を求める要請書について。
・ワークショップ報告書について。
・山田地域整備協議会答申について。
＜協議概要＞
・各委員から跡地利活用についての提案があった。
・現地視察の日程が平成３０年４月２３日（月）に決定した。

（３）第３回 嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会
　　日時　平成３０年４月２３日（月）１０時００分～１２時００分
※管理校の嘉穂総合高校白濱事務長同行のもと協議会委員、庁内跡地整備検討員会委員が参加し、現地視察を実施。現地の現状について説明を受けた。
＜報告事項＞
・第２回協議会における利活用に関する課題点及び提案について報告。
＜協議事項＞
・第１回の会議録の承認について

⇒協議会内で承認された。

（４）第４回 嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会
平成３０年５月１５日（火）１９時００分～２０時０５分

＜報告事項＞

・第３回協議会で出された各委員からの意見、質問について回答。

＜協議事項＞

・旧福岡県立山田高等学校校舎利活用の可能性について
⇒校舎敷地の建物に関しては県に除却を要請し、除却した後の利活用について協議を行うことで一致した。
⇒陥没地について県に原因究明の申請をしてほしいとの要望があった。

（５）第５回 嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会
平成３０年６月１９日（火）１９時００分～２０時００分

＜報告事項＞

・第４回協議会における各協議会委員からの意見、質問について回答。

＜協議事項＞

・第２回の会議録の承認について
⇒協議会内で承認された。
・跡地利活用の方向性について
・コンサルタンツからの跡地利活用提案について
⇒付加価値を持たせた住宅地としての利活用を基本とすることで決定した。付加価値に関してはコンサルタントが整理を行い、発送する資料を確認することで合意した。

（６）第６回 嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会
平成３０年９月１８日（火）１９時００分～２０時３５分

＜報告事項＞

・協議会名称変更の報告。
・国道沿ブロック塀について管理校からの連絡事項を報告。

＜協議事項＞

・第４回、第５回会議録の承認について
⇒協議会内で承認された。
・平成３０年７月豪雨による被災状況、協議会開催の日程変更、協議対象敷地の変更について
⇒更なる崩落を防ぐため、県と協議を行い、１日も早い復旧をしてもらうよう要望することで一致した。

⇒第７回の協議会の開催日を１０月２３日（火）に決定した。
⇒被災を受けたことにより、上部グラウンドと校舎敷地の一部を協議対象から外す事で合意した。

・コンサルタンツから提供を受けた資料について協議を行った。
⇒嘉麻赤十字病院と隣接している利点を最大限に活用し、嘉麻赤十字病院との相乗効果を得られるよう整備を行うことで決定した。

・答申（案）について
⇒協議会内で提案された意見を基に修正を行い、送付する答申（案）を確認し、期日までに修正意見を提出することで決定した。

（７）第７回 嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会
平成３０年１０月２３日（火）１９時００分～１９時３０分

＜協議事項＞

・第６回、第７回の会議録の承認について
⇒送付する会議録を確認し、期日までに修正意見を提出する事で合意した。
その後、正副会長と打合せを行った上で承認とすることで合意した。

＜答申＞

・井原会長より市長へ答申が行われた。

【協議会委員名簿】

区　分	団　体　名	氏　名	備考
1 号委員	近畿大学産業理工学部	井原　徹	会長
	近畿大学産業理工学部	飯島　高雄	
2 号委員	行政区長会	村上　曙生	
	行政区長会	山根　國治	
	山田高等学校同窓会	三舩　國弘	副会長
	山田高等学校同窓会	武谷　節夫	
	嘉麻商工会議所	中村　博美	
	嘉麻市商工会	冨金原　健三	
	社会福祉協議会	木山　淳一	
3 号委員	公募委員	加藤　結花	
	公募委員	岸本　麻衣子	
	公募委員	美林　純子	

嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会

参考資料

目　次

資料１　福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会条例
資料２　委員名簿
資料３　今後のスケジュール等
資料４　参考資料
資料５　県立高校跡地等利用庁内検討報告書
資料６　嘉麻赤十字病院の建替え存続を求める要請書
資料７　ワークショップの分類結果について（抜粋）
資料８　山田地域整備協議会答申（写）
資料９　福岡県立山田高等学校跡地に関する検討の経過
資料１０　福岡県立山田高等学校跡地現地視察について
資料１１　今後のスケジュールについて
資料１２　第２回協議会における課題点及び提案内容
資料１３　福岡県立山田高等学校配置図
資料１４　協議会委員からの質問に対する回答
資料１５　校舎利活用の可能性について
資料１６　協議会委員からの質問に対する回答
資料１７　跡地利活用の提案と課題点について
資料１８　跡地利活用の方向性について(コンサルタント提案分)
資料１９　福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会条例の一部改正について
資料２０　国道沿ブロック塀について
資料２１　平成 30 年 7 月豪雨による被災状況, 協議会開催の日程変更, 協議対象敷地の変更について
資料２２　嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会答申について

資料１

福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会条例

（設置）

第１条　平成１９年３月に廃校となった福岡県立山田高等学校の跡地（以下「高校跡地」という。）に関し、専門的な見地から協議し、高校跡地の利活用を積極的に推進するため、地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第１３８条の４第３項の規定に基づき、福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第２条　協議会は、市長の諮問等に応じ、次に掲げる事項について調査し、及び審議する。

⑴　高校跡地の利活用推進計画（案）に関する事項

⑵　その他高校跡地の利活用に関し、市長が特に必要と認める事項

（組織）

第３条　協議会は、委員１２人以内で組織する。

２　委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

⑴　学識経験者　２人以内

⑵　公共的団体が推薦する者　７人以内

⑶　公募委員　３人以内

（委員の任期）

第４条　委員の任期は、第２条に規定する諮問等に係る事務が終了するまでの間とする。

２　委員が、委嘱されたときの当該身分を失った場合は、委員を辞したものとみなす。

（会長及び副会長）

第５条　協議会に、会長及び副会長１人を置く。

２　会長は、委員の互選により定める。

３　副会長は、委員のうちから会長が指名する。

４　会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

５　副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

（庶務）

第６条　協議会の庶務は、主管課において処理する。

（委任）

第７条　この条例の施行に関し、協議会の運営に必要な事項は、規則で定める。

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会条例施行規則

（趣旨）

第１条　福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会条例（平成２９年嘉麻市条例第３４号）第７条の規定に基づき、嘉麻市審議会等の会議及び会議録の公開に関する規程（平成２２年嘉麻市告示第１３１号）に定めるもののほか、福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（会議）

第２条　会議は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

２　会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

３　会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

４　会長及び副会長にともに事故あるとき又はともに欠けたときは、市長が会議を招集する。

（招集通知）

第３条　会長は、会議を招集しようとするときは、あらかじめ会議開催の日時、場所及び付議事件を委員に通知しなければならない。

（関係者の出席等）

第４条　協議会は、必要に応じ関係者及び専門的知識を有する者等に会議への出席及び資料提出等の協力を依頼することができる。

（委任）

第５条　この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附　則

この規則は、公布の日から施行する。

資料２

福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会委員名簿

（平成３０年２月２日）

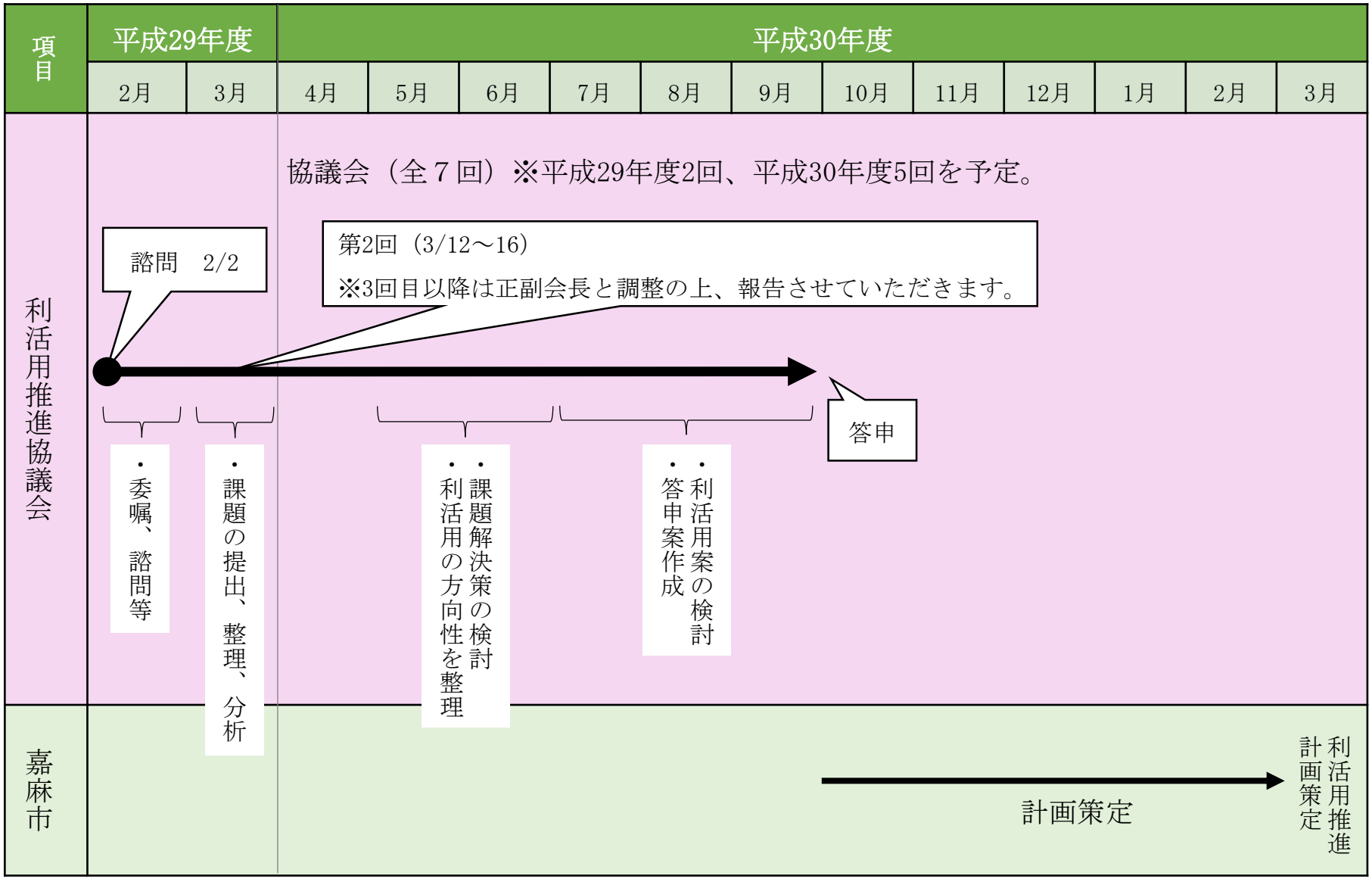
区　分	団　体　名	氏　名	備考
１号委員	近畿大学産業理工学部	井原　徹	
	〃	飯島　高雄	
２号委員	行政区長会	村上　曙生	
	〃	山根　國治	
	山田高等学校同窓会	三舩　國弘	
	〃	武谷　節夫	
	嘉麻商工会議所	中村　博美	
	嘉麻市商工会	冨金原　健三	
	社会福祉協議会	木山　淳一	
３号委員	公募委員	加藤　結花	
	〃	岸本　麻衣子	
	〃	美林　純子	

≪区分別、順不同、敬称略≫

※ 非常勤特別職である公人として委嘱される委員の氏名については、公開情報となりますことをご了承ください。

資料３

福岡県立山田高等学校跡地利活用に関する今後のスケジュール



福岡県立山田高等学校跡地利活用に関する事務フロー

嘉麻市長

【協議会への諮問・答申】
協議会に諮問し、調査・協議結果である答申を尊重し、施策に反映させます。

庁内検討委員会

市役所内で組織され、山田高等学校跡地整備について検討を行う。
【構成メンバー】
副市長、教育長、総合調整監、土木課技監、企画財政課長、管財課長、学校教育課長、社会福祉課長等

コンサルタント

様々な課題や諸条件などを専門的な見地から調査・分析し、高校跡地の利活用推進計画（案）について技術面において利活用推進計画を整理します。

諮問 →

← 答申

福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会

(1) 内容
高校跡地の利活用推進計画（案）に関する事項、その他高校跡地の利活用に関し、市長が特に必要と認める事項に関して協議を行い答申します。

(2) 委員構成
・学識経験者　２人以内
・公共的団体が推薦する者７人以内
・公募委員　３人以内
合計１２人

平成３０年２月２日諮問
平成３０年９月答申見込

進捗報告 →

嘉麻市議会

福岡県立山田高等学校跡地利活用に関する進捗状況等について報告を受けます。

情報提供 →

市民

〇情報の提供
市民のみなさまは、広報誌、ホームページなどにより跡地利活用推進について情報をご確認できます。

【計画の策定】
跡地利活用の課題について、協議会からの答申を最大限尊重し、また、各専門的な調査検討結果を参照しながら、利活用推進計画を策定します。

→

【福岡県への要望活動】
策定した計画に基づき福岡県に要望を行っていきます。

資料４

第1回

福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会
参考資料

平成30年2月2日（金） 19:00～

地域活性推進課　地域活性推進係

1　福岡県立山田高等学校跡地利活用に関するこれまでの経過

年 月	経 過
昭和１８年	福岡県立山田高等学校開校。 ※旧制中学校として開校し、昭和２３年の学制改革により高等学校となった。
平成１９年３月	福岡県立山田高等学校廃校。６４年間の歴史に幕を閉じる。
平成２１年５月	嘉麻赤十字病院の充実と旧山田高等学校跡地の医療的活用に関する請願書が提出される。（※請願書を別紙添付）
〃　　９月	議会において、全会一致で請願が採択される
平成２１年 ～平成２９年	嘉麻赤十字病院と外来駐車場、移転先の候補地として協議を行う
平成２９年２月	嘉麻赤十字病院から移転断念の報告を受ける。
平成２９年３月	議会にて嘉麻赤十字病院の移転断念について行政報告を行う。 （※行政報告抜粋を別紙添付）
平成２９年４月	山田高校跡地検討に関する所管課が「企画財政課」から「地域活性推進課」に変更。 跡地利活用についての検討を再開。
平成２９年６月～	庁内に嘉麻市山田高等学校跡地整備検討委員会を設置。計５回開催 ※利活用方法の進め方について検討を行っている。
平成３０年２月	福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会を設置。

平成２９年３月　　※行政報告抜粋

～「略」～

次に２件目は、嘉麻赤十字病院の山田高校跡地への建替えに関してでございます。
嘉麻赤十字病院については、築３５年が経過し、建替えの時期を迎えており、本市としましては、議会や地域からの要望もあり、合併時から山田高校跡地を利用しての建替えについての協議を病院側と重ねてきたところでございます。
昨年１月には、「病院将来構想」が策定され、以降、昨年は６回、本年は１月に１回、財政面等の具体的な協議を行っていたところでしたが、２月１３日に日本赤十字社福岡支部事務局長並びに嘉麻赤十字病院長ら関係者が来庁され、「新築建替えについては断念する」との報告を受けたところでございます。
理由としましては、日赤本社において、嘉麻赤十字病院の経営状況や今後の展開を厳密に検証したところ、建替え資金については、日赤内部の基準による借入金が数億円しか認められないこと、また、建て替え後の経営について安定した経営ができないと結論されたこと、その結果、多額の補助金を地元自治体である本市に求めることとなり、本市に財政支援をお願いするのも限りがあること、またその他の資金確保についても手立てがないこと等でございました。
今後につきましては、現施設の改修や医療機器の整備等に努めながら、継続して現在の地域において病院の運営を行っていくとのことであり、本市としましても、山田地区を中心とした地域医療に引き続き貢献していただきたく、嘉麻赤十字病院の存続について強く要望していくものでございます。

最後に３件目は、～「略」～

2　福岡県立山田高等学校跡地の現状

①航空写真

2　福岡県立山田高等学校跡地の現状

②敷地面積等

	地番	面積
①	上山田1244-5	12,051.00㎡
②	上山田1683-120	5.66㎡
③	上山田1683-240	7,046.00㎡
④	上山田1683-239	883.00㎡
⑤	上山田1683-68	20,294.00㎡
⑥	上山田1306-1	978.00㎡
	合　計	41,257.66㎡

2　福岡県立山田高等学校跡地の現状

③校舎部分

校舎床面積：5,397.02㎡

建築年
校舎　　昭和38年～昭和53年
プール　昭和59年
体育館　平成元年

④グラウンド

⑤その他（市所有敷地内）

【同窓会館】

※市の所有する敷地内に同窓会館とモニュメント等が存在している。

【モニュメント】

３　福岡県立山田高等学校跡地の課題

①敷地及び建物の所有者等

・山田高等学校の敷地及び建物の所有者は、登記上嘉麻市ではない。

・現存の校舎部分は旧耐震基準の建物である。

②グラウンドの陥没

・グラウンド内には大きな陥没があり、土地を利用するうえで用途が限られる。
・位置は運動場の西側。大きさは直径約６ｍ、深さ約３ｍ程。たまった水も抜けていることから下に空洞の存在も考えられる。

③その他

【グラウンドへの道路】

・グラウンドに向かうには、進入路が狭い道路を通って行く必要がある。
・取り付け道路の幅は３ｍ程。軽自動車同士でもすれ違うことは難しい。

資料5

県立高校跡地等利用庁内検討報告書

県立高校跡地等利用庁内検討委員会

はじめに

福岡県では、平成１１年度に県立高等学校再編整備基本計画が策定され、以後、県立高校の統廃合が実施されている。

嘉麻市には現在３校の県立高校施設があるが、この内、山田高校と嘉穂工業高校は、再編整備計画によって平成１９年４月から閉校状態となっている。この折、地域活力の低下や建物への不審者の出入りなどを心配する声が、地域住民をはじめ議会からも上がっていた。

一方、福岡県における、学校跡地利用の方針に関しては、地元自治体の意向を酌む考えがあると示された。このため嘉麻市では、当該高校跡地の有効な利用方針を実務者レベルで検討すべく「県立高校跡地等利用庁内検討委員会」を組織し、現在まで６回の検討委員会を重ねてきたところである。

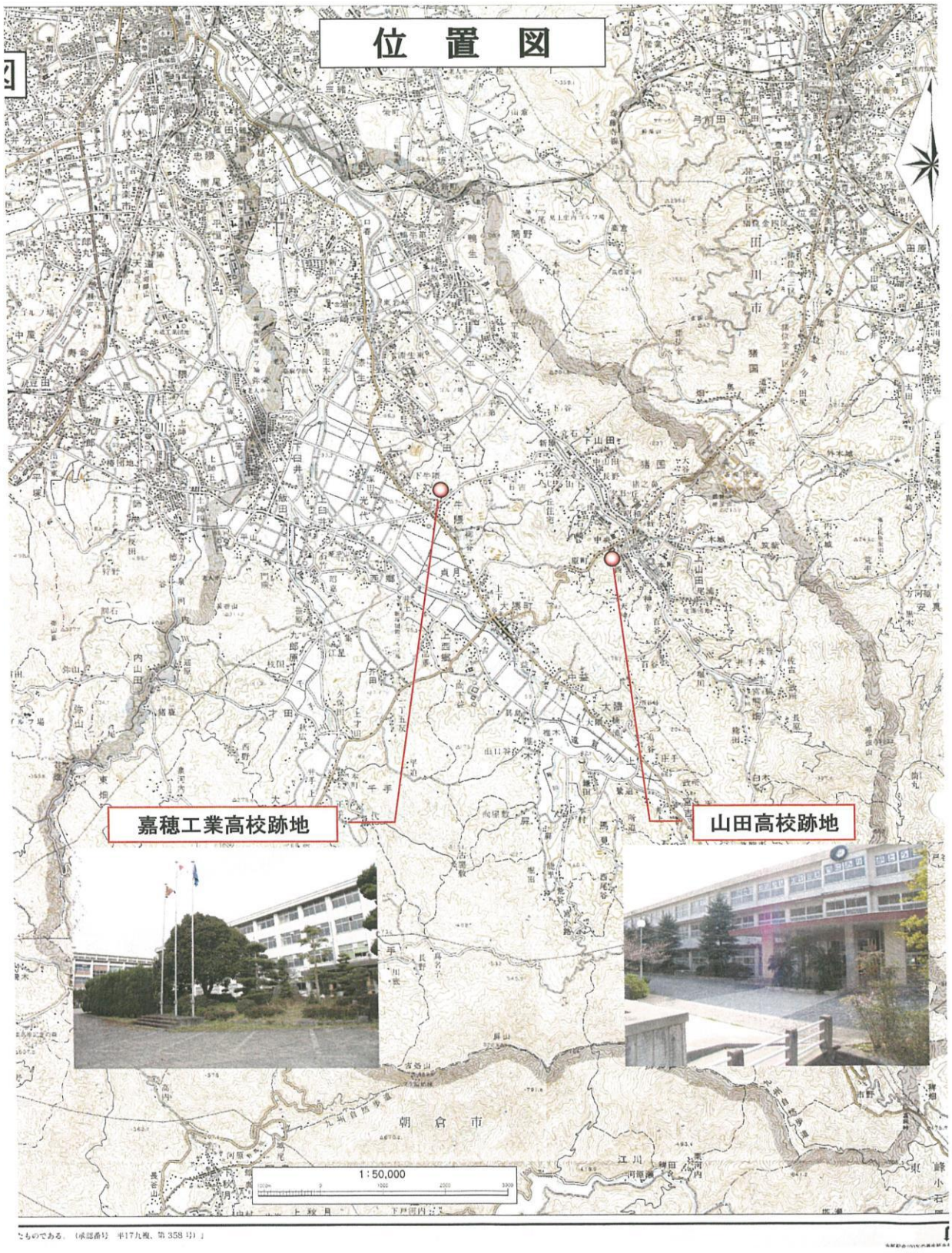
しかし、これらの土地、建物は県有財産であり、福岡県の理解と協力がなければ有効な活用方法の検討はできない。

従って、私たち検討委員会が検討するにあたっては、福岡県の理解が得られることを前提として検討を行った。また、利用方針を明らかにするに当たっては、本来、建物の耐震強度の調査を行ったり、解体費用の積算を行ったりするなど、具体的な数値を示し、検討の精度を高めることが必要であると考えるが、予算的な面や時間がない中での検討であったため、この報告書ではその部分までの精査は行っていない。

また、当初は山田高校と嘉穂工業高校の２校の有効活用方針の検討が、私たちの任務であったが、平成１９年１２月１１日に嘉穂工業高校跡地の利用に関しては、福岡県消防学校の誘致候補地として要望する旨の陳情書が福岡県に提出されたため、今回の検討項目から外し、山田高校跡地だけの活用方針を検討したものである。

平成２０年３月２８日
県立高校跡地等利用庁内検討委員会

位　置　図



Ⅰ　県立山田高校跡地について

1　学校跡地の概要

山田高校は、旧山田市市街地の中心部に位置し、国道３２２号と面しており、近くには、病院、銀行、商店街、コンビニエンスストアーなどの日常生活に必要な施設が揃っている。また、校舎敷地よりも一段高い場所に位置するグランドの周辺は、緑が多く自然環境に恵まれた条件にある。

しかし、近年は、学制の撤廃や少子化などの影響で定数割れの状態が続き、県立高等学校再編整備基本計画の推進によって平成１９年３月３１日限りで６４年間の歴史に幕を閉じた。

2　土地の状況

土地については、国道３２２号に沿って校舎等の建物が建っている。
校舎敷地の面積は、約 19,000 ㎡で、この土地から市道を隔てた高台には、面積約 22,000 ㎡(山林部分を含む。)のグランドがある。

校舎の建っている土地及び当時の校舎等（現在は建て替えにより現存していない。）については、昭和３７年に当時の山田市が福岡県に対して寄附を行ったものであるが、県が高校としての用途を廃止した場合などは、山田市（現嘉麻市）に当該土地等を一切無条件、無償にて譲渡することを寄附条件としていた。

この無条件、無償による譲渡については、今後、福岡県との協議を進めなければならないが、跡地利用については、無償譲渡を前提として検討を行った。ただし、グランド敷地については、福岡県が国有地を買い上げたものであるため必要な場合は、買収しなければならない。

3　建物の状況

現在の校舎は、３階建の建物で校舎の床面積は 5,397 ㎡、校舎延面積は、12,253 ㎡あり、昭和３０年代後半から昭和４０年代後半にかけて建設された。体育館(平成元年建設)を除く建物は老朽化が進み、耐震強度などに問題がある。

4　高校跡地の利用方針①(校舎解体による利用)

(1)宅地分譲

①効果等

近くに整備された、望が丘分譲住宅団地は、４７区画の全部が完売し、辺くに分譲地等がない。国道に面していることや病院、学校等が比較的近く住宅地としての立地条件に恵まれており、分譲地の需要は期待できると予想される。また、定住人口の増加、土地の売却益、固定資産税等の税収入や周辺商店街への経済効果も期待できる。

②課題・問題点

建物の解体費用、土地造成費用等を積算した場合、分譲価格を低価格で設定できるか。また、定住人口の増加に対する期待については、嘉麻市外から購入希望者が見込めるか不透明である。

③課題・問題点に対する対処

効率的な分譲地造成と購入ニーズを把握するため、宅地分譲に関する住民アンケート調査を実施する必要がある。また、市のホームページや報道機関等を通じた広報活動を行うなどの検討が必要である。

(2)事業所用地(低騒音の条件つき)

①効果等

雇用機会の確保や固定資産税等の増収が見込めるとともに、土地の売却益が生じる。

②課題・問題点

工場用地としては、面積が充分と言えず工場の規模が制限される。また、当該地が住宅地や病院にも隣接しているため、近隣住民の理解を得られるかの問題もあり、企業業種についての制限を検討する必要がある。

③課題・問題点に対する対処

面積規模から小規模工場用地(2,000～3,000 ㎡)として売却することや騒音問題に対処するため、防音壁の設置或いは、騒音の低い業種の誘致を視野に入れて検討する必要がある。

また、校舎部分の土地は、国道に面し交通アクセスに恵まれ、住宅地の中心にあることから商業施設用地としての活用も期待できる。

(3)市営住宅建設

①効果等

定住人口の増加、家賃収入や周辺商店街への経済効果が期待できる。

②課題・問題点

建物の解体費用、土地造成費用や住宅建設費用、維持管理費など多額の費用を要する。また、民間アパート経営を圧迫するなどの問題点がある。

③課題・問題点に対する対処

本市における住宅政策の基本方針や住宅ストック計画との整合性を精査する必要がある。

また、市営住宅入居申し込み状況等を把握することが必要である。

(4)都市公園

①効果等

市民の憩いの場として、また地域コミュニティ醸成などの効果が期待できる。

②課題・問題点

整備及び維持管理に多大な費用負担が生じるため、嘉麻市の財政状況からは非常に厳しいものがある。

③課題・問題点に対する対処

維持管理については、ボランティアなどの方向性を検討する必要がある。

(5)農業公園

①効果等

グリーンツーリズムやスローライフなど、生活志向の変化に伴い、都市住民との交流が図れ、嘉麻市のイメージアップにもつながる。また、地域住民の憩いの場としての効果も期待できる。

②課題・問題点

整備費用、水の問題、利用者があるかなど課題は多く、また、この場所に整備する根拠或いは、適地として他地区との比較検討も必要である。

③課題・問題点に対する対処

整備に関しては、有効な補助制度を調査検討し、水の問題については、貯水施設の整備を検討する。また、都市住民との交流など地域間交流を促進するため、宿泊可能な施設の整備についても検討する必要がある。

また、利用者の有無等を把握するため、アンケート調査を実施することが必要である。

(6)中高一貫校誘致

①効果等

地域学力の向上と嘉麻市のイメージアップに資するとともに、周辺商店街への経済効果も期待できる。

②課題・問題点

実現の可能性などについての確認を要する。

③課題・問題点に対する対処

福岡県教育委員会の方針を把握する必要がある。

5　高校跡地の利用方針②(既存校舎利用)

(1)行政文書等の保管庫

①効果等

行政文書の保管庫が不足しており、この施設であれば充分に対応できる。また、イベント等で使用するテント等の機材などの保管にも活用できる。

②課題・問題点

行政文書の保管については、セキュリティ面が問題で、特に個人情報保護の観点からは特段の対策が必要となる。

③課題・問題点に対する対処

民間警備会社に委託することで、一定の問題は解消できるが費用負担が生じる。

(2)子育て支援施設(学童保育所)

①効果等

現状の学童保育は、保護者から全学年を対象とした放課後児童への支援体制が期待されており、今ある学童保育所はキャパシティーに問題があるため、当該施設は、学童保育施設として充分な効果が見込める。

②課題・問題点

各学校からの距離があり、移動など安全面が問題となる。

③課題・問題点に対する対処

移動については、スクールバス、市バスを利用し、ボランティアの活用により安全面への対応を図る。

(3)医療・介護・福祉施設及びスタッフ育成施設

①効果等

地域医療、福祉等の充実に寄与すること及び売却益又は、賃貸料収入が見込める。

②課題・問題点

賃借とした場合は、改築費(バリアフリー化を含む。)費用負担の問題が発生する。

③課題・問題点に対する対処

賃借者との協議により対処する。

6　その他の利用方針

その他の利用方針として協議、検討した事項については次のとおりである。

①窯業技術者育成施設

②施設の一般開放(カルチャーセンター)

③緊急避難所

④刑務所

Ⅱ　県立嘉穂工業高校跡地について

当初は検討対象としていたが、平成１９年１２月に市が、福岡県知事に対して、「福岡県消防学校誘致に関する要望書」を提出したため、検討項目から除いている。

Ⅲ　基本方針(山田高校)

(1)校舎解体による利用

建物を解体した場合は、財政的な観点等から嘉麻市が実施主体として行う市営住宅の建設、都市公園、農業公園については、建設、整備及びその維持管理に多大な費用が必要となり、実現は困難である。また、中高一貫校の誘致については、福岡県の方針を確認する必要はあるが、実現の可能性は極めて低い。

そこで、第１案としては建物を解体し、嘉麻市が条件整備までを行うこととして、住宅地として分譲することが望ましい。住宅地として分譲した場合、現在校舎が建っている土地に道路等の必要な面積を除外すると約３０戸程度が分譲できる。

第２案としては、第１案と同様な条件整備を行い、工場用地、商業用地として売却することも財政状況からは望ましいものと言える。

また、グランドについても同様のことが言える。

ただし、グランドについては、買収費用が発生するが、住宅地として分譲した場合は道路等の必要な面積を除外すると約３５戸程度が分譲できる。
この場合、進入道路等の条件整備が必要となる。

【具体的方針】

①住宅地として分譲

②事業所用地(工場用地、商業用地)として売却

(2)既存校舎利用

既存の校舎を利用する場合、解体費用等は発生しないが建物の老朽化等による安全面等の問題から、行政文書等の保管庫として使用することが望ましいと思われる。

【具体的方針】

①行政文書等の保管庫として使用

(3)嘉麻赤十字病院

嘉麻赤十字病院については、別紙事務協議書を添付しているが、当病院の外来者等の駐車場としての利用希望がある。

また、現在の病院施設が耐用年数等の状況から今後１０年程度の期間で建て替えを予定されており、その有力な候補地として山田高校跡地が挙がっている。

県立高校跡地等利用庁内検討委員会の概要

委員会	開催日時	検討の内容等	備　考
第１回	平成１９年１１月１４日	検討委員会要綱、スケジュール等の説明 正副委員長の選出	山本委員長 岡田副委員長
第２回	平成１９年１２月　５日	現地視察(山田高校、嘉穂工業高校)	
第３回	平成２０年　１月２２日	利用方針の検討	
第４回	平成２０年　２月１３日	利用方針の検討	
第５回	平成２０年　３月１７日	利用方針及び報告書の検討	
第６回	平成２０年　３月２４日	報告書の最終検討	事務局会議

県立高校跡地等利用庁内検討委員会

職　　名	氏　　名	職　　名	氏　　名
土木係長	山本英二(委員長)	社会福祉係長	岡田弘子(副委員長)
管財係長	大里芳明	教育企画係長	畑俊一
財政係長	森田正裕	都市公園係長	伊藤喜浩
商工観光係長	永水史朗		

事務局

職　　名	氏　　名	職　　名	氏　　名
企画調整課長	白石二郎	企画調整課長補佐	大里喜久雄
企画調整係長	田中義文	企画調整係	江藤浩史

覧

企画調整課

合議　課長　課長補佐　係

平成24年11月30日

嘉麻市
市　長　松　岡　　賛　様

山田地区行政区連合会

会長　村　上　曙　生

熊ヶ畑　大里　学[redacted]

上山田　島田　睦男[redacted]

大橋　鳥丸　忠志[redacted]

下山田　松岡　康則[redacted]

嘉麻市役所
受
24.11.30
第　付　号
297

嘉麻赤十字病院の建替え存続を求める要請書

「要請趣旨」

我が国の地域医療を取り巻く環境は、地域や診療科における医師の不足及び偏在が大きな課題となっており、「医療過疎」や「医療貧困」ともいえる状況に直面している。

そのために地域医療が過疎化していくことは許されることではなく、勿論このことは国の医療行政のミスであり、国は「高齢者と病人」、特に「交通機関の不便な地域の高齢者と病人」を切り捨てていると思われる。

飯塚市に、飯塚病院が地域医療・災害拠点病院として存在するため、嘉飯桂及び直鞍地区からの患者が多く、予約しても受付から診察・治療までの待ち時間がかなり掛かり、患者としては苦痛に感じる時間帯であります。病院側の医師・看護師の連日の疲労も並大抵ではないと思われます。

このような観点から、嘉穂南部地区に飯塚病院と同程度の地域医療・災害拠点病院が必要であると考えます。

「嘉麻赤十字病院」は市内唯一の公的病院であり、市民にとってはなくてはならない病院であるとともに、福岡県内３ヶ所に存在する赤十字病院の１つが嘉麻市山田地区にあることを重く考えるべきであります。

現在の嘉麻赤十字病院は施設の老朽化が進み、病室や廊下、さらには駐車場が狭い等々、診療の妨げになっている課題も多く、早急に建替えが必要であります。

建替える場所としては、隣接の山田高校跡地が考えられます。この場所は福岡県の所有であり、この土地に当初学校を建てる時、当時の山田町民が「赤ちゃんからお年寄りまで、全町民一人一日一銭預金をして学校建設に寄付をし」、当時の労働力不足を補うため、各行政区の住民が輪番制で勤労奉仕に汗を流し、「山田町立国民高等科」を

建設したいと考えていた頃、福岡県から寄付の申し出があり、当時の町長が嘉穂郡という広い地域を考えて、その申し出に同意し、山田高校が建設されたという経過があります。

このことを考えると、山田高校跡地を有効利用することで容易に建替え用地が取得でき、さらには隣接する土地に建設ができるということで最適な場所でもあると思います。

また、昭和５７年の全面改築時には、中学校跡地の提供と市民からの寄付６千万円、市からの補助金１億４千万円を建築資金として提供した経緯もあります。

以上のことから、嘉麻市の南部地域の医療を守り、今以上に良質な医療が提供できる市民病院的な役割も果たす病院として医療施設の充実が図られることを切に願い、下記の事項を要請するものであります。

「要請事項」

１．総合的病院及び地域医療・災害拠点病院として医療施設の充実を図ること。

２．建替え時には、隣接の山田高校跡地を有効活用すること。

嘉麻赤十字病院の建替え存続を求める署名簿集計表　2012/11/1現在

行政区名	組　数	所帯数	署名数	その他
熊ヶ畑第1	6	74	185	
熊ヶ畑第2	8	82	190	
熊ヶ畑第3	6	60	159	
計	20	216	534	
百々谷	13	105	186	
尾浦第1	19	146	297	
尾浦第2	9	72	107	
神　幸	11	81	329	
天　神	10	72	150	
西　川	17	245	250	
本　町	11	120	215	
下　宮	11	73	154	
木　城	23	305	796	
筑　紫	9	76	269	
計	133	1,295	2,753	
大　橋	11	126	319	
中　央	13	158	272	
原　町	5	44	289	
昭　和	10	86	117	
猪之鼻	10	70	158	
蛭　子	8	87	165	
さくらが丘	17	275	147	
三菱第1	20	282	529	
三菱第2	13	156	46	
計	107	1,284	2,042	
ゆうひが丘	21	255	269	
長　野	12	88	177	
中山田上	14	113	328	
中山田下	14	158	372	
立　石	8	131	190	
新　原	9	81	142	
山　下	16	165	119	
石ヶ崎	20	225	307	
古　河	15	207	94	
日　吉	7	46	83	
計	136	1,469	2,081	
合　計	263	4,264	7,410	

「支所のあり方、庁舎資産の活用方法」
ワークショップの分類結果について

平成２９年２月２８日

庁舎・交通体系対策室

目次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

１.分類と整理の手順について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

２.分類結果表の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

３. 分類結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

庁内開催分　「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表・・・・・・・・・・・・9
庁内開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果　グラフ・・・・・・・・・・・・・１０
庁内開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表・・・・・・・・・・・・・・・・１１

碓井会場開催分　「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表・・・・・・・・１３
碓井会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果　グラフ・・・・・・・・・・１４
碓井会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表・・・・・・・・・・・・・１５

山田会場開催分　「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表・・・・・・・・１７
山田会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果　グラフ・・・・・・・・・・１８
山田会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表・・・・・・・・・・・・・１９

嘉穂会場開催分　「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表・・・・・・・・２１
嘉穂会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果　グラフ・・・・・・・・・・２２
嘉穂会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表・・・・・・・・・・・・・２３

稲築会場開催分　「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表・・・・・・・・２５
稲築会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果　グラフ・・・・・・・・・・２６
稲築会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表・・・・・・・・・・・・・２７

庁内開催分　提案シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
碓井会場分　提案シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
山田開催分　提案シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
嘉穂開催分　提案シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
稲築開催分　提案シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６

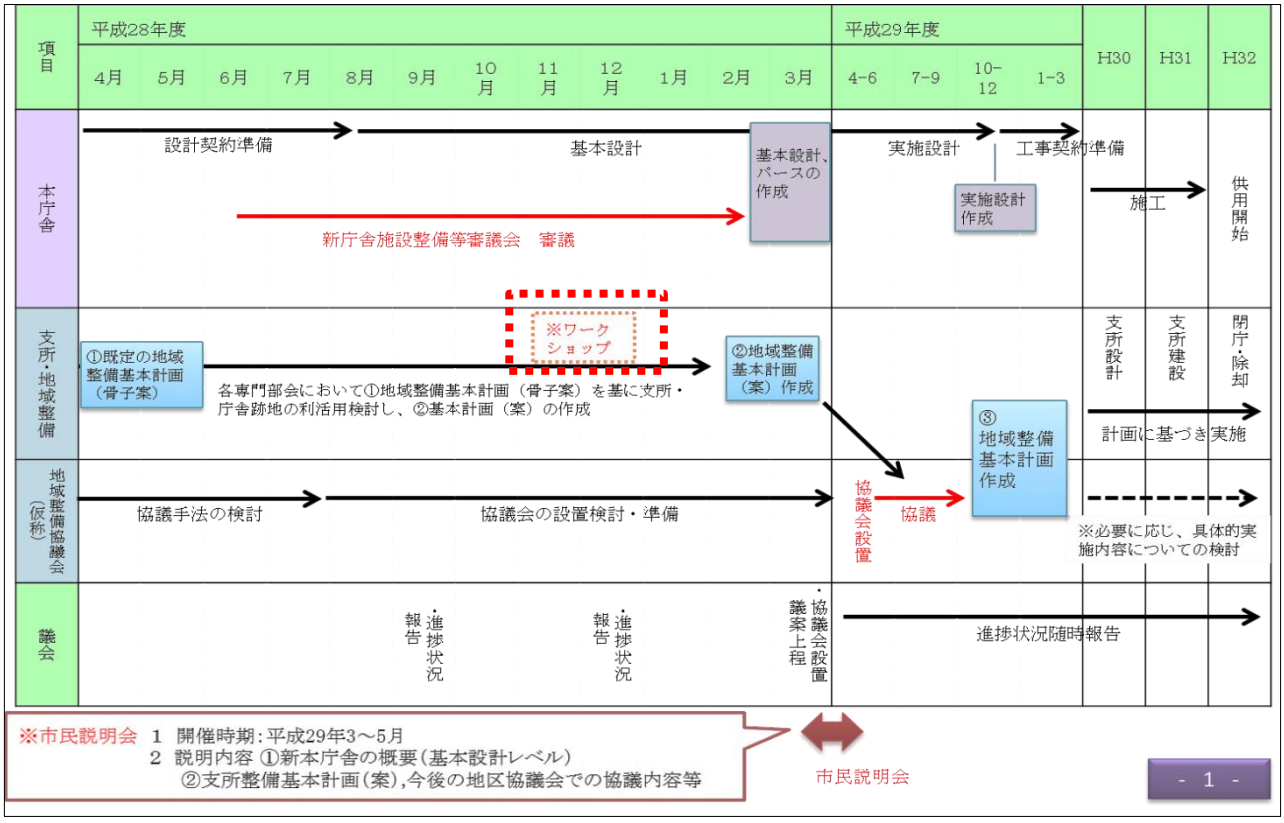
はじめに

庁内職員対象ワークショップ１回、各地区におけるワークショップ８回（夜の部４回、昼の部４回）合計９回に亘って開催された「第２次嘉麻市総合計画」「支所のあり方、庁舎資産の活用方法」ワークショップにおいては１９３人の参加者の方から１，３４０票ものご提案を頂いた。

本報告書はその中から「支所のあり方、庁舎資産の活用方法」分に提案された５５２票の提案を対象に分類を行い、参加者みなさまの「支所のあり方、庁舎資産の活用方法」分に対する提案の傾向やニーズを表したものである。

本分類結果を踏まえ、図１のとおり各専門部会、地域整備基本計画（案）の策定、来年度に予定をしている地域での協議会等において参考資料として活用させていただき、「嘉麻市地域整備基本計画」を策定していくものである。

（図１）



平成２８年１２月１３日　庁舎特別委員会への提出資料　１Ｐより

今回のワークショップでは会場エリアだけに留まらず、市内外から多数の方にご参加を頂いた。必ずしも会場エリアに限定しない多種多様な提案が数多く出されていた。

本報告書においては各会場での結果を会場エリアに対する結果と捉えず、各会場で実施されたワークショップにおける傾向として公表する事とした。

本報告書中においては票数表示や色分け等の手法も用いているが、あくまで整理を行い、参考資料として利用していただく事を目的としたものである。

１.分類と整理の手順について

多数の意見、アイデアを考察する場合や問題の解決を考える際に用いられるのがＫＪ法（注１）である。ＫＪ法はラベル（今回のワークショップではポストイット）と呼ばれるデータ要素を表札（大まかなくくり）という上位概念を用いて共通点でグループ化し、関係性や重要度を探り課題を解決していく手法のことである。今回は途中段階までこのＫＪ法の手法を用いて分類を行うこととした。

【 分類の手順 】

① 模造紙に貼られたポストイットの内容を各会場の班毎にパソコンに入力した。提案は全てポストイットに記入された原文のまま入力した。（図２）⇒（図３）

② 入力されたシートより「支所のあり方、庁舎資産の活用方法」に対する５５２提案のみを１提案ずつはさみで切り分け模造紙の上に広げた。（図４）

③ 切り分けたシートの提案内容を見ながら、関連性のある提案をグループにし、内容を表す表札をつけていった。

④ ③で作ったグループの表札と他の表札を見比べながら、互いに親近性のあるグループを更にまとめていった。この作業を繰り返し最終的に２０個程のグループにまとめた。（図５）

⑤ 本来のＫＪ法であればこれ以降、論理的整序の段階に入っていくが今回の分析の目的は答えを出すことではなく、検討材料として参考資料を示すことであるためこの作業段階までとした。（図５）

⑥ この分類段階においては「庁舎資産の活用方法」に関する提案と「支所の機能、あり方」、「その他」の提案に関して明確に分類し別々に整理していくこととした。

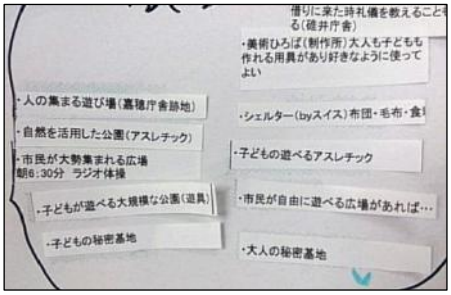
（図２）

ワークショップで出された提案（ポストイット）

（図３）

ポストイットの内容をパソコンに入力

（図４）



シートを１提案ずつ切り分けた状態

（図５）

グループ分けが終了した段階

（注 1）KJ 法：収集した多量の情報を効率よく整理する際によく用いられる。収集した情報をカード化し、同じ系統のものでグループをつくり、図解し、情報の整理、分析を行う。考案者の川喜田二郎氏の頭文字 KJ から命名されている。

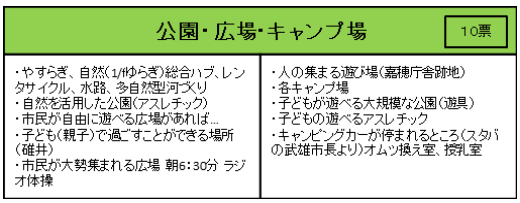
【 分類の整理 】

⑦ 図５において手書きで分類を行った結果を図６の様にパソコンに入力した。
上部には表札名、表札名の右隣に分類された提案の数、下部に各提案を１つずつ記入した。

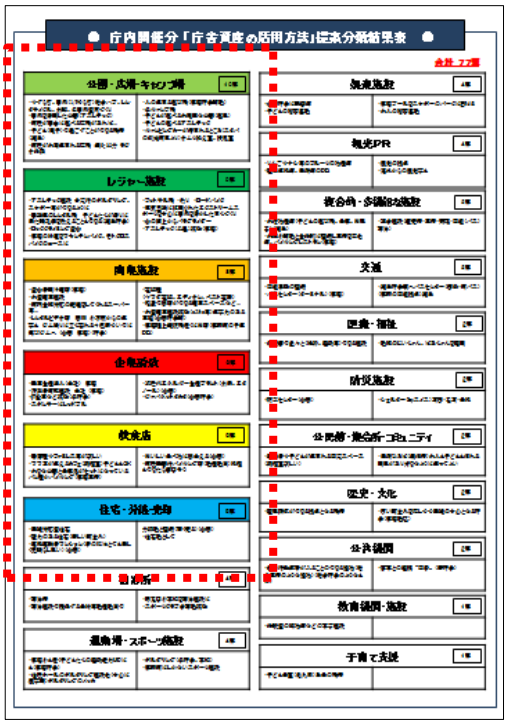
⑧ 図６の様に分類された表札を図７の様に左上から票数の多い順に並べていった。

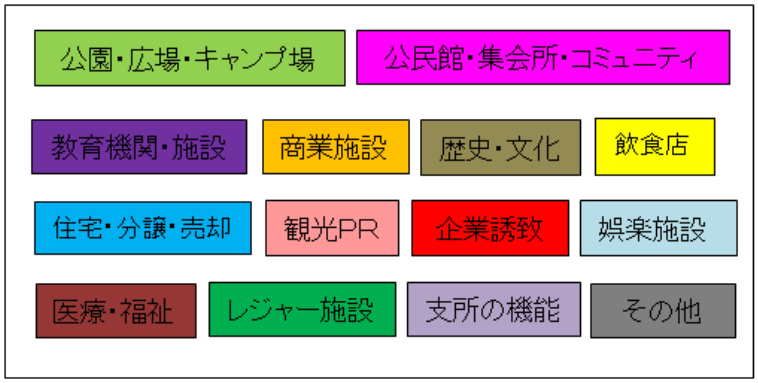
⑨ 提案数の多かった各会場上位５提案については表札名の部分に色を入力した。
表札に入力した色は下に示したとおりである。

（図６）

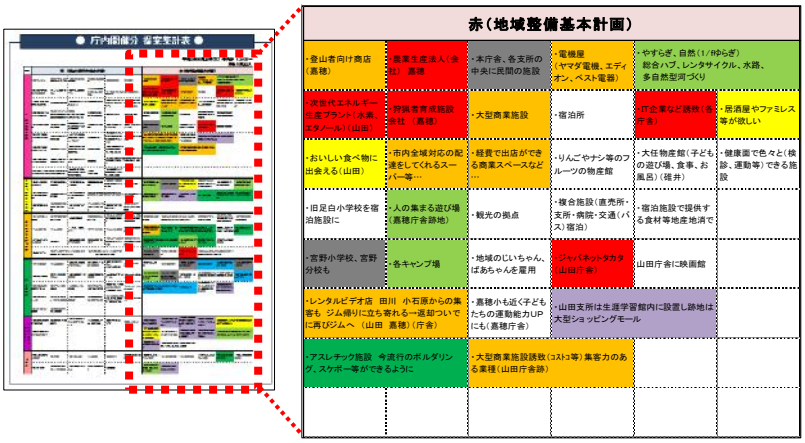


（図７）

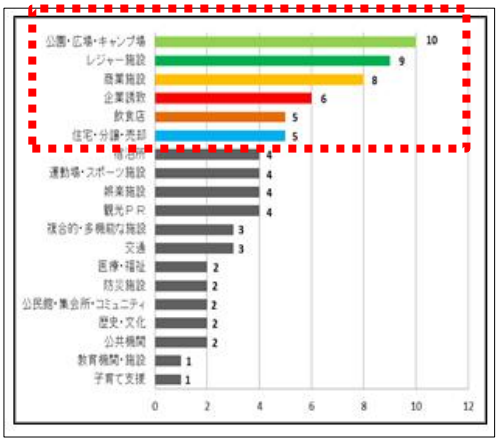




（図８）



（図９）



⑩ 図８の分類において上位５つのグループに分類された各提案に限り、表札名に入力した色と同じ色を提案シートの各提案部分に入力した。（図８）

⑪ 票数をグラフ化し、棒グラフの棒の部分にも上位５つの表札名に色を入力した。（図９）

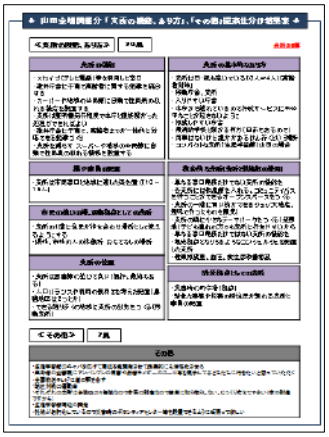
⑫ 提案の分類において「支所の機能、あり方」、「その他」に分類されたものに関しては別途分類を行い、提案シートの各提案の部分に色を入力した。（５P 参照）

２．分類結果表の見方

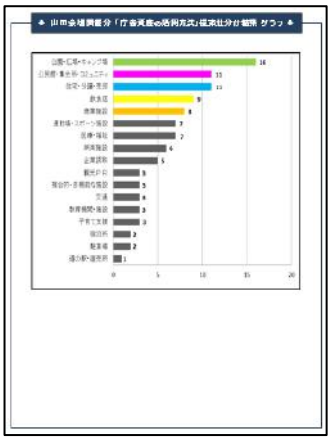
分類結果に関しては下４つの表に分けて示すこととし、各表の見方を次に記した。

【 各結果表の見方 】

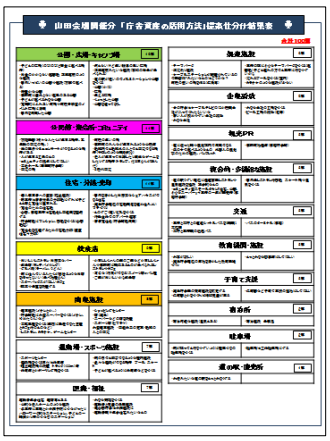
(a)



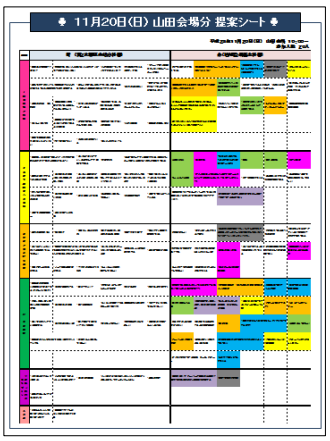
(b)



(c)



(d)



(a)「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表
支所の機能やあり方についての情報を項目ごとに分類しており、参加者の支所に対する多様な考え方を把握することができる。

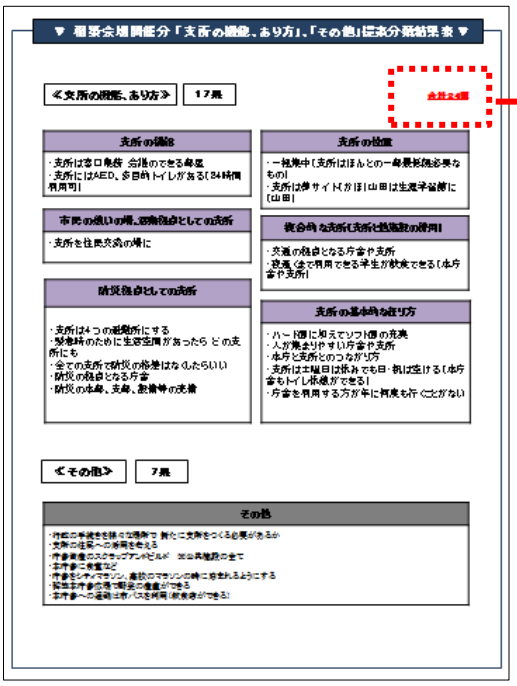
(b) 各会場における「庁舎資産の活用方法」に関する分類結果グラフ
（ｃ）における結果を可視化することができるため、最初のつかみとして簡潔に内容、傾向を読み取りやすい。詳細な結果の把握のためには（ｃ）を参考にする必要がある。

（ｃ） 各会場における「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表
各会場における全提案をグループごとに分類し、提案数の多い表札順に並び替えている。 各会場においてどのような意見が多く出されていたのか、どのようなニーズが存在するのか傾向を読み取ることができる。

（ｄ）各会場分類結果　提案シート　※補足資料
各会場における全提案を示している。上位５つの項目に分類された提案に関しては１提案毎に色を入力している。参加者の方の提案がどこに分類されているのか確認することができ、提案者の意図する事が把握できる。

【 「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表の見方 】

（図１０）



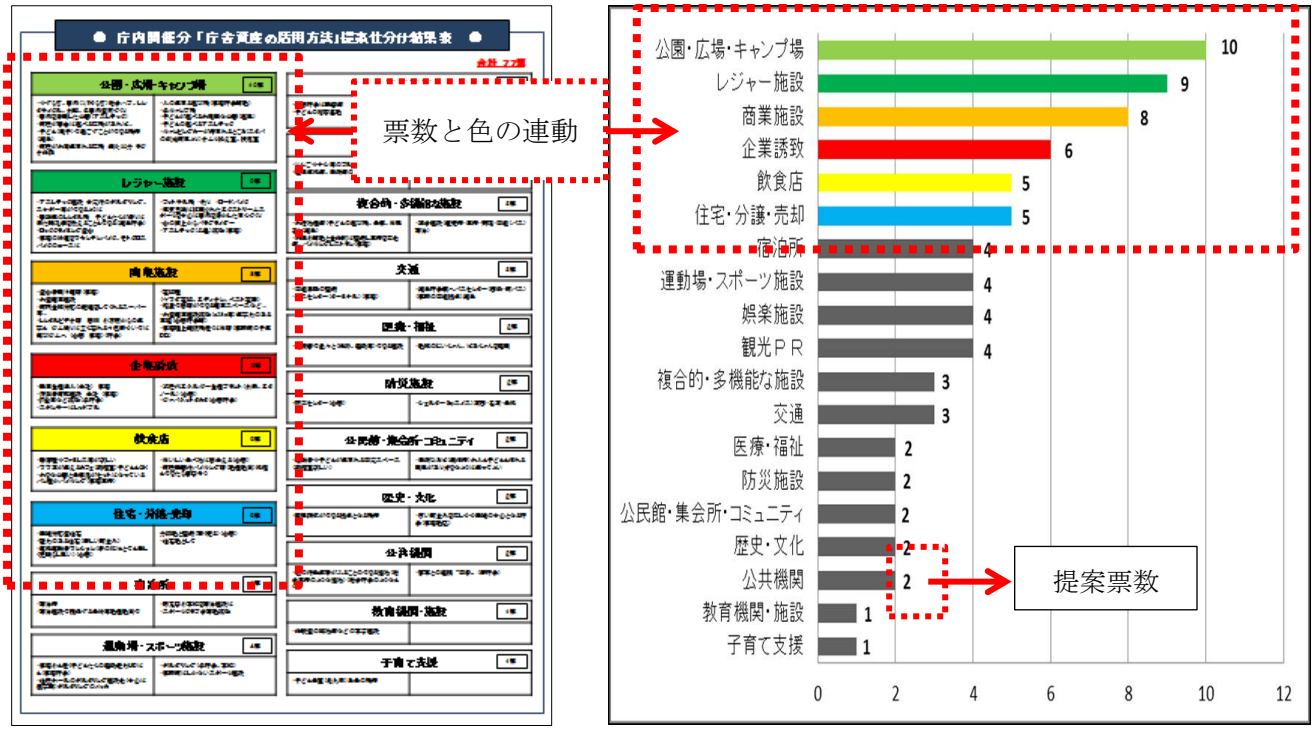
右上の赤い文字は「支所の機能、あり方」、「その他」票数の合計を示している

上段の　　色の部分に「支所の機能、あり方」について分類している。

下段の　　色の部分に「その他」提案について分類している。

【 グラフの見方 】

（図１１）



グラフは『(c) 各会場における「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表』を可視化したものである。結果表の色分け、票数、並び順と連動している。

棒グラフの右隣に示した数字は提案票数を表している。

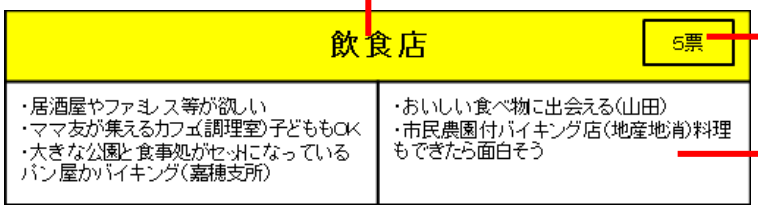
【 結果表のグループの見方 】

（図１２）

右上の赤い文字は各表の票数の合計を示している

グループは左上から多い順に並んでおり
左列最下段から右列最上段に移動

表札名と色

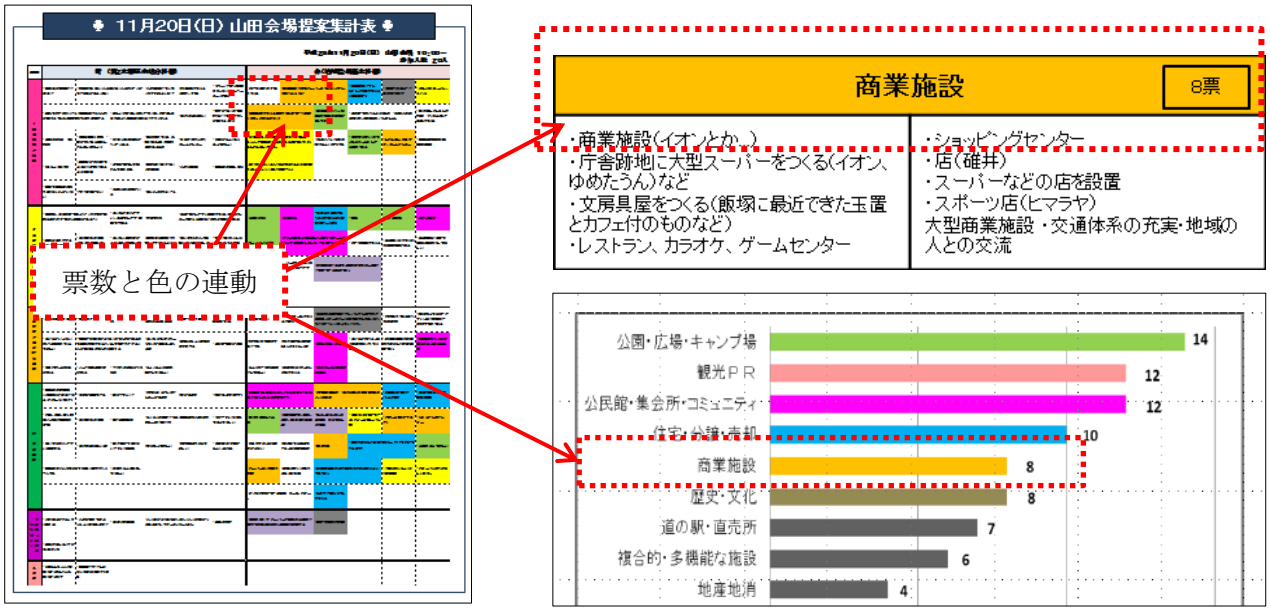


提案票数

提案シートより分類された各提案

【 色分類の見方 】

（図１３）



上位５つのグループに分類された提案に関しては色付けによる分類が行われている。色分類の見方は上図のとおりである。グラフの色は全て連動するように表されており図１３を例にした際、提案シートの提案に付けられたオレンジ色は商業施設（オレンジ）グループの中に分類されていることを示している。また、グループの票数と色はグラフとなって可視化されておりグラフの棒部分にもオレンジ色が示されている。

３．分類結果表

分類結果表は以下の順に示している。

（表１）

庁内開催分　分類結果	頁
庁内開催分　「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表	９
庁内開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果　グラフ	１０
庁内開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表	１１

（表２）

碓井会場開催分　分類結果	頁
碓井会場開催分　「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表	１３
碓井会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果　グラフ	１４
碓井会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表	１５

（表３）

山田会場開催分　分類結果	頁
山田会場開催分　「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表	１７
山田会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果　グラフ	１８
山田会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表	１９

（表４）

嘉穂会場開催分　分類結果	頁
嘉穂会場開催分　「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表	２１
嘉穂会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果　グラフ	２２
嘉穂会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表	２３

（表５）

稲築会場開催分　分類結果	頁
稲築会場開催分　「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表	２５
稲築会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果　グラフ	２６
稲築会場開催分　「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表	２７

（表６）

各会場分類結果　提案シート（補足資料）	頁
庁内開催分　提案シート	２９
碓井会場分　提案シート	３０
山田開催分　提案シート	３２
嘉穂開催分　提案シート	３４
稲築開催分　提案シート	３６

山田会場開催分 分類結果

◆ 山田会場開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表 ◆

◆ 山田会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果 グラフ ◆

◆ 山田会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表 ◆

♣ 山田会場開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表 ♣

≪支所の機能、あり方≫ **29票**

合計36票

支所の機能

・スカイプ（テレビ電話）等を利用した窓口
・碓井庁舎に子育て高齢者に関する組織を統合する
・スーパーや地域の公民館に自動で住民票の取れる機会を設置する
・支所は証明書発行程度で本庁と直接繋がった処理ができればよい
・碓井庁舎に子育て、高齢者までが一体的に対応できる組織づくり
・支所を減らす　スーパーや地域の公民館に自動で住民表の取れる機械を設置する

支所の基本的なあり方

・支所は日・祝も空いている（３人⇒４人）（高齢者対策）
・移動庁舎、支所
・入りやすい庁舎
・本庁から離れているので行政サービスに不公平なことが起きないように
・相談しやすい庁舎
・県消防学校と繋がる何か（日赤もあるので）
・用事はないけど誰かがおるけん行くという場所
・コンパクトな支所（生涯学習館）山田の場合

課や職員の配置

・支所は市民窓口と地域に適した係を置く（10～15人）

市民の憩いの場、活動拠点としての支所

・支所の１階に住民が待ち合わせ場所として使えるようにする
・県外、市外の人の休憩所　おもてなしの場所

支所の位置

・支所は図書館の並びで良い（銀行、農協もある）
・人口バランスや利用の便利さを考えた配置（嘉穂地区は2つとか）
・できる限り多くの地域に支所の出先をつくる（移動支所）

複合的な支所（支所と他施設の併用）

・単なる窓口業務だけでない支所の機能を
・各支所には物産館を入れる、コミュニティバスを待つことができるオープンスペースをつくる
・支所の一階に買い物ができるショップ（地産、趣味で作ったものを販売）
・支所の隣に小さなテーマパークをつくる（遊園地）子ども連れの方でも支所に行きやすいから
・単なる窓口業務だけではない支所の機能を
・観光拠点となりうるようなコンシェルジェを配置した支所
・健康相談室、血圧、食生活改善相談

防災拠点としての支所

・災害時の司令塔（拠点）
・緊急な事態や災害の時住民が頼れる支所と職員の配置

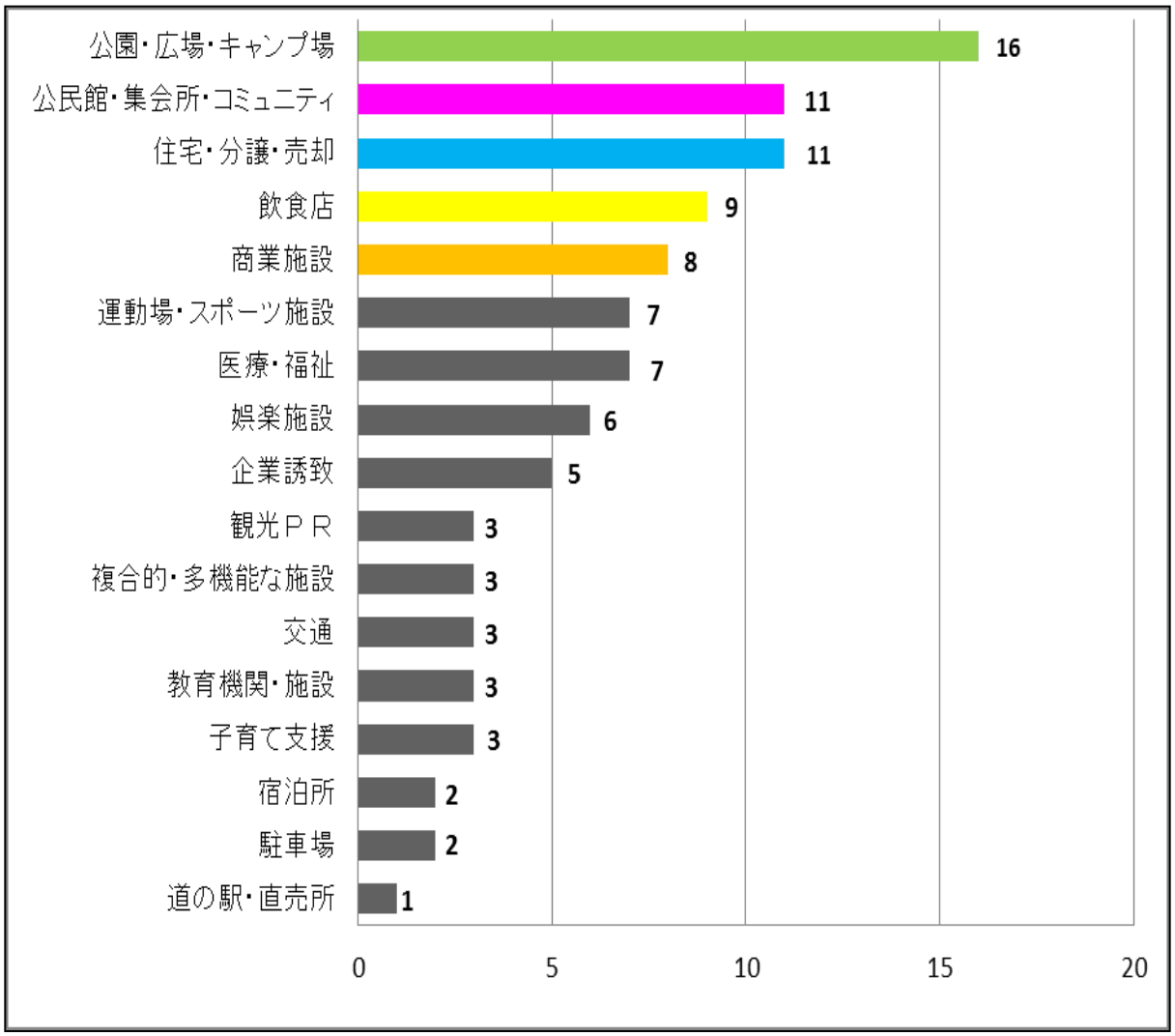
≪その他≫ **7票**

その他

・生涯学習館のキャパを広げて周辺を再開発させて商業的にも活性化させる
・美術館の企画展にアンパンマンの原画や仮面ライダーのスーツ等を展示して子どもたちに行きたいと思っていただく
・全国放送テレビに道の駅を出す
・地区対抗の運動会
・それぞれの支所は各地区の１等地なので市民の財産なので簡単に切り売りしない。じっくり考えて下さい（市の財産ですから）
・生涯学習館周辺の開発
・社協が老朽化しているので災害時のボランティアセンター等を設置できるように頑張って欲しい

♣ 山田会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果 グラフ ♣

合計100票



♣ 山田会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表 ♣

合計100票

公園・広場・キャンプ場 16票

- ・子どもの広場（のびのびと安全に遊べる場所）
- ・お金のかからない遊園地　夜須高原のような施設
- ・自然いっぱいの公園や施設（家族で遊べる）
- ・緑豊かな公園
- ・嘉麻市に意外とない遊具のある公園
- ・子どもが遊べる大きな公園
- ・定期的にふれあい市場や市民参加型のイベント広場に活用
- ・自然を利用した公園
- ・何もないけど使い勝手の良い広場
- ・夜須高原みたいな施設（学校の給食が食べられる）
- ・道の駅が近いのでイルミネーションや公園をつくる
- ・公園（かほ）
- ・広場
- ・集える広場
- ・ちょっとした公園
- ・公園を造って欲し

公民館・集会所・コミュニティ 11票

- ・家庭農園（様々な人たちが集まる場所。異年齢の交流の場。）
- ・絵の展示やミニコンサートができるような場所がある
- ・人が集まる工夫のもの
- ・コミュニティの拠点にしてほしい
- ・文化ホール（稲築町庁舎跡）
- ・交流の場
- ・市民の集いの場
- ・嘉麻市のみんなが集まれるような公民館
- ・地域内でも地域外の人とでも交流できる場所（サロンのような開放的さ）
- ・老人が集まってお話したり簡単なゲームをしたりする場所（トランプ、だるまさんが転んだ）
- ・3世代交流

住宅・分譲・売却 11票

- ・個人事業者への貸出（廃止施設）
- ・旧支所は若者対象の分譲地にすれば子どもも増え定住に望まれる。
- ・定住のための住宅地
- ・山田、嘉穂支所は宅地化し交通網を整備する
- ・庁舎跡地にマンション、団地をつくる（山田地区）
- ・定住化を促進するための宅地分譲（賃貸住宅→分譲）
- ・自然を活かしたお洒落なシェアハウスができる住宅
- ・碓井庁舎周辺の宅地開発を進め住みよいマチづくり
- ・ものすごく高いビルをつくる
- ・行政主体でのアパート運営
- ・若者定住化（庁舎跡地利用）

飲食店 9票

- ・おいしいレストラン　お洒落なバー
- ・飲食店（ランチバイキング）
- ・グルメ街（ラーメン、うどん）
- ・市に住んでいる人たちが出せるようなお店を作ったらいい（食べ物屋さん）
- ・スターバックスがほしいカフェ
- ・喫茶や食堂を設置する
- ・かましちゃんの顔のご飯などかましちゃんや嘉麻市に関係あるものが食べられるレストランやカフェ
- ・有名な（行列ができる）スイーツ店orパン屋
- ・ご飯がおいしいから飲食店

商業施設 8票

- ・商業施設（イオンとか…）
- ・庁舎跡地に大型スーパーをつくる（イオン、ゆめたうん）など
- ・文房具屋をつくる（飯塚に最近できた玉置とカフェ付のものなど）
- ・レストラン、カラオケ、ゲームセンター
- ・ショッピングセンター
- ・店（碓井）
- ・スーパーなどの店を設置
- ・スポーツ店（ヒマラヤ）

大型商業施設　・交通体系の充実・地域の人との交流

運動場・スポーツ施設 7票

- ・スポーツセンター
- ・運動場をつくるまたは体育館
- ・陸上競技場の設置　トラック（400m）青
- ・体育館とかボーリング場をつくる
- ・雨の日でも練習できるような屋内施設
- ・色々な運動ができる場所　プール　スケート
- ・子どもが遊べるように体育館などをつくる

医療・福祉 7票

高齢者集合住宅　商店等もある

- ・公的な老人ホームのような施設
- ・各支所に薬局とか介護予防につながったりハローワーク的なステーション、子どもの一時預かり所のつなぎのステーション
- ・大きな病院をつくる
- ・高齢者と児童の供用施設
- ・現山田庁舎は介護施設に
- ・高齢者向け集合住宅みたいなもの

娯楽施設 6票

- ・テーマパーク
- ・渓流釣り施設
- ・ケーブルステーションが配置されているので映画村?みたいなものはどうかな？
  市民の憩いの場を作る（銭湯等）
- ・支所の隣に小さなテーマパークをつくる（遊園地）子ども連れの方でも支所に行きやすいから
- ・流れるプールをつくる（室内）
- ・カラオケのような施設が少ない

企業誘致 5票

- ・今の庁舎はケーブルテレビのほか民間会社が入ってくれたらいいな
- ・若い人が務めやすい会社の誘致
- ・大きな会社
- ・大きな会社の工場をつくる
- ・ビール工場の誘致（花畑）

観光PR 3票

- ・道に迷った時や観光案内で利用できる
- ・森の中で遊べるようなもの　外国人の観光客のための施設、パンフレット
- ・嘉麻市物産館（嘉穂庁舎跡）

複合的・多機能な施設 3票

- ・道の駅うすい周辺に産直営農レストランや温泉施設を建設　複合的なもの
- ・コミュニティ型スモールタウン「住宅、公園、小さなスーパー」→支所の一部が販売所（嘉穂庁舎跡）
- ・自然食レストラン付団地　スケート場や温泉をつくる

交通 3票

- ・支所と本庁との直通シャトルバスを1時間1本程度
- ・本庁と支所間の送迎バス
- ・バスのターミナル（嘉穂）

教育機関・施設 3票

- ・大学が欲しい
- ・碓井庁舎周辺の箱物を活かした教育環境づくり
- ・もっと大きな図書館にしてほしい

子育て支援 3票

- ・碓井庁舎横の療育施設を拡充する
- ・保育園とかをつくれば待機児童が減る
- ・保育園など子育て支援の建物にしてほしい

宿泊所 2票

- ・宿泊可能な施設（温泉もある）
- ・宿泊施設　食事処

駐車場 2票

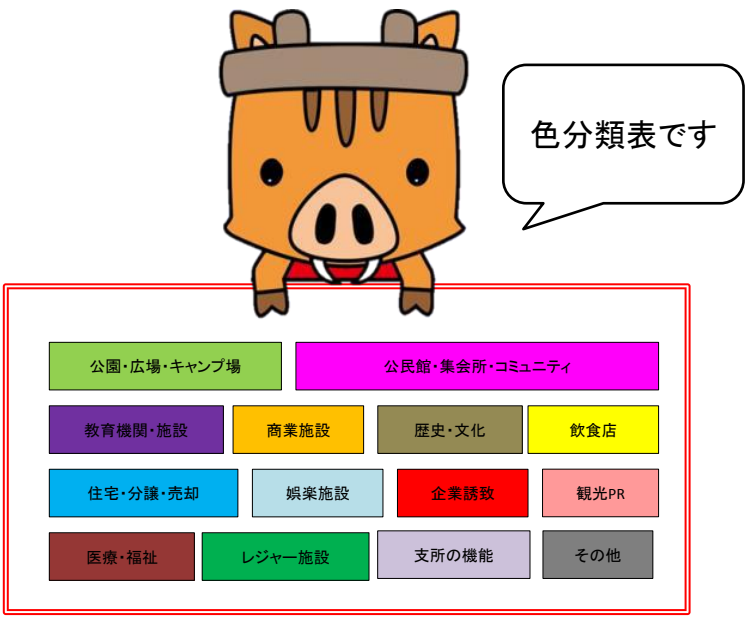
- ・雨が降っても行きやすいように屋根つきの駐車場をつくる
- ・駐車場は立体駐車場にする

道の駅・直売所 1票

- ・大任みたいな道の駅をもっと大きくする

補足資料

各会場分類結果　提案シート



♣ 11月8日（火） 山田会場分 提案シート ♣

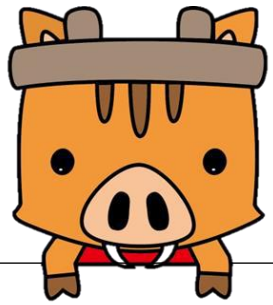
平成28年11月8日（火） 山田会場 19:00～
参加人数 23人

項目	青 （第2次嘉麻市総合計画）						赤（地域整備基本計画）					
Ⅰ産業振興や雇用	・生活できる産業の育成（企業誘致）	・嘉穂の自然を活かした施設『持ってる人』が集まる街		・観光名所	・たくさんの人が訪れるまち	・観光振興 ・名物	・個人事業者への貸出（廃止施設）	・おいしいレストラン お酒落なバー	・商業施設（イオンとか…）	・今の庁舎はケーブルテレビのほか民間会社が入ってくれたらいいな		・若い人が務めやすい会社の誘致
	・農業施設	・人口3万5千は維持（観光・交流・Uターン者）	・観光のキーワード『ついての街』小石原、日田、秋月etc	・ゆうゆう年金生活	・女性が働きやすい環境	・商店が活発になったらいい	・大きな会社	・ビール工場の誘致（花畑）	・宿泊可能な施設（温泉もある）	・家庭農園（様々な人たちが集まる場所。異年齢の交流の場。）		・子どもの広場（のびのびと安全に遊べる場所）
	・高齢者はイキイキと働けるように	・嘉麻市で育った子が嘉麻市に住んで職場に通勤するし	・地産地消、嘉麻市の野菜や肉果物を使った5つ星レストランがあったらいい				・道の駅うすい周辺に産直営農レストランや温泉施設を建設 複合的なもの		・お金のかからない遊園地 夜須高原のような施設	・観光拠点となりうるようなコンシェルジェを配置した支所		
Ⅱ子育て高齢者への支援	・高齢者にやさしい町に	・子育てしやすいようになればいい	・高齢者が安心して暮らせる	・買い物や移動が便利	・公的老介護施設（独居、夫婦二人）	・高齢者を転入させる	・高齢者集合住宅 商店等もある	・公的な老人ホームのような施設	・高齢者向け集合住宅みたいなもの	・高齢者と児童の供用施設	・現山田庁舎は介護施設に	・碓井庁舎に子育て高齢者に関する組織を統合する
	・子育てがしやすいまち	・待機児童0 地域の見守り	・保育園と高齢者施設の併設	・プロジェクトK等より特色のある取り組みを進めていく		・プロジェクトKで元気な高齢者のまち	・碓井庁舎横の療育施設を拡充する	・支所の1階に住民が待ち合わせ場所として使えるようにする		・喫茶や食堂を設置する	・絵の展示やミニコンサートができるような場所がある	
	・若い人がどんどん出産して子どもが増え人口の増加		・情報を得やすいように（子どもたちの教育に対して、親）		・出生から就学までサポートできるまち	・子どもの将来を真剣に考える	・支所の1階に買い物ができるショップ（地産、趣味で作ったものを販売）		・社協さんが老朽化しているので災害時のボランティアセンター等設置できるよう頑張って欲しい			
	・温泉付き5つ星の病院	・健康な人は健康を保てるようにトータルケアをしてくれるとこ		・高齢者と子どもたちが一緒に養老保育できる「未来園」		・子どもたちが安心してすごせる場所づくり 遊び場	・各支所に薬局とか介護予防につながったりハローワーク的なステーション、子どもの一時預かり所のつなぎのステーション					
	・一人暮らしの高齢者が安心して住める公営住宅→シェアハウスみたいなスモールタウン		・子どもと老人が交流できるオープンハウス（いつでもだれでも寄って話せる場所）		・退職した人（お年寄り）が働いたりボランティアできる場所（居場所）社会とつながっている場所							
	・子どもたちに優しい街	・子どもたちが近所におお年寄りたちに挨拶をするとろ	・地域間の温かい交流	・嘉麻市定年制 元気な高齢者づくり（介護予防）小銭稼ぎ奨励								
Ⅲ教育や文化的な環境	・学力No1	・若者の定住増	・農業体験を利用した観光	・文化財を活用した観光	・いろんな幸せを感じられる	・短歌の里	・旧支所は若者対象の分譲地にすれば子ども増え定住に望まれる。		・自然いっぱいの公園や施設（家族で遊べる）		・緑豊かな公園	・スポーツセンター
	・子どもたちに誇れる大人社会	・教育レベルを上げて他市町村より転入してきてほしい		・子ども自身が将来に夢が持てる環境に	・体育館あり ジムあり アスレチックあり サイクリングロードあり							
	・子どもたちがイキイキと学べる学校づくり	・13校の小中学校が全て笑顔で学習している市	・豊かな教育文化（行事等）	・気軽にスポーツが楽しめる公園								
Ⅳ生活環境	・交通の充実	・交通体系の整備	・公共交通の充実（市バスの充実）	・公共交通機関の整備	・子どもが安心して遊べる	・車がなくても生活できるまち	・生涯学習館のキャパを広げて周辺を再開発させて商業的にも活性化させる		・できる限り多くの地域に支所の出先をつくる（移動支所）		・テーマパーク	・生涯学習館周辺の開発
	・公共交通が便利になる（通学、通勤）	・綺麗な水 ゴミのないまち	・災害に強いまち	・買い物難民をなくす（高齢者が多い）	・医療施設の充実（移住してくる人に対して）	・程よい田舎日本一	・定住のための住宅地	・宿泊施設 食事処	・嘉穂支所は観光拠点	・災害時の司令塔（拠点）	・入りやすい庁舎	・相談しやすい庁舎
	・懐の深い嘉麻	・車に乗れなくなることを想定してHPや買い物ができるような小回りの利く乗り合いバス		・道路が整備された安全な道路環境	・災害に強いまち	・ゴミや雑草のないきれいな街	・道に迷った時や観光案内で利用できる	・嘉麻市に意外とない遊具のある公園	・支所は図書館の並びでよい（銀行、農協もある）	・人口バランスや利用の便利さを考えた配置（嘉穂地区は2つとか）		・移動庁舎、支所
	・公共交通網が整備されること	・交通の便が悪い	・交通の便が悪いのでよくなって欲しい	・住宅地の開拓	・温泉施設の充実や営農レストラン	・若い人が定住できる	・支所と本庁との直通シャトルバスを1時間1本程度	・本庁と支所間の送迎バス	・コンパクトな支所（生涯学習館）山田の場合		・山田、嘉穂支所は宅地化し交通網を整備する	
	・便利な公共交友	・交通の便が良くなってほしい	・ずっと住んでいたい街	・医療機関の充実	・川で遊べる市	・大きな道の駅	・支所は証明書発行程度で本庁と直接繋がった処理ができればよい		・溪流釣り施設	・単なる窓口業務だけでない支所の機能を		・緊急な事態や災害の時住民が頼れる支所と職員の配置
	・移動販売車（移動コンビニ）	・レンタルショップ（ゲオ）	・自然の中で遊べる場所	・大型のスーパー（そのスーパーで全ての買い物ができるような）		・JRの駅があったらいいです	・子どもが遊べる大きな公園	・飲食店（ランチバイキング）	・各支所には物産店を入れる、コミュニティバスを待つことができるオープンスペースをつくる		・コミュニティ型スモールタウン「住宅、公園、小さなスーパー」→支所の一部が販売所（嘉穂庁舎跡）	
	・コミュニティバスの運行、買い物や病院、楽しみ場所に行ける		・HPの中で買い物ができるように	・買い物に困らないように身近な所に店	・バスなどの交通	・緑豊かで現在ホタルが乱舞している地域の保存	・バスのターミナル（嘉穂）	・ケーブルステーションが配置されているので映画村?みたいなものはどうかな？				
Ⅴ市民と協働のまちづくり	・手作りの農業したい	・行政職員の日ごろから地域割当制（災害時に有効）		・市職員の休憩時間を2時間にして嘉麻を満喫			・定期的にふれあい市場や市民参加型のイベント広場に活用		・何もないけど使い勝手の良い広場	・支所は日祝も空いている（3→4人）（高齢者対策）	・支所は市民窓口と地域に適した係を置く（10から15人）	・人が集まる工夫のもの
	・人の集まる場所	・笑顔があふれるまち	・一人じゃないと言える街	・全ての市民に必要な情報が共有できる	・若い人が働きやすい環境		・コミュニティの拠点にしてほしい	・用事はないけど誰かがおるけん行くという場所	・スカイプ（テレビ電話）等を利用した窓口	・本庁から離れているので行政サービスに不公平な事が起きないように		
その他	・キャラのたった街	・人が住みたくなる町 人口維持	・多市町村よりたくさん転入してきてほしい				・それぞれの支所は各地域の一等地なので、市民の財産なので簡単に切り売りしない。じっくり考えて下さい（市の財産ですから）		・県消防学校と繋がるなにか（日赤もあるので）			

♣ 11月20日（日） 山田会場分 提案シート ♣

平成28年11月20日（日） 山田会場 10:00～
参加人数 20人

項目	青 （第2次嘉麻市総合計画）						赤（地域整備基本計画）					
Ⅰ産業振興や雇用	・嘉穂牛が全国的に有名に	・雇用の場 若い人も若くない人も働くことができる場があると良い		・人口増加についてどうすればよいか？	・働く場所をつくる（会社、工場）	・ツリーハウスのお店カフェなど（エレベーターと梯子）	・大きな会社の工場をつくる	・庁舎跡地に大型スーパーをつくる（イオン、ゆめたうん）など		・庁舎跡地にマンション、団地をつくる（山田地区）	・全国放送テレビに道の駅を出す	・グルメ街（ラーメン、うどん）
	・市外で働き住むところは嘉麻市・転入人口が増える・県外の市内出身者を活用する		・珍しいポケモンが出やすい等、ポケモンGOを使った嘉麻市の観光に力を入れる		・交通の便が悪い	・電車がないので飯塚などに引っ越す人が増えると思う	・文房具屋をつくる（飯塚に最近できた玉置とカフェ付のものなど）		・夜須高原みたいな施設（学校の給食が食べられる）	・森の中で遊べるようなもの ・外国人の観光客のための施設、パンフレット		・自然食レストラン付団地 ・スケート場や温泉をつくる
	・企業の誘致 ・映画館	・道路（幅員）拡張 ・皆が遊べる公園（レストランも欲しい）	・お祭り等の行事がたくさんある	・飛行場をつくる 外国（海外線）や国内線のあるもの	・カラオケボックス ゲームセンター	・お店がもっと多くあって欲しい	・かましんちゃんの顔のご飯などかましんちゃんや嘉麻市に関係あるものが食べられるレストランやカフェ		・大任みたいな道の駅をもっと大きくする	・道の駅が近いのでイルミネーションや公園をつくる	・レストラン、カラオケ、ゲームセンター	・嘉麻市物産館（嘉穂庁舎跡）
	・おいしい食べ物	・高齢化が進むのでよそから仕事に来るような産業	・仕事が安定して安心して暮らせる	・飯塚市に負けない人口増加	・人口が増加	・嘉麻市のPR、CM	・市に住んでいる人たちが出せるようなお店を作ったらいい（食べ物屋さん）					
	・日本で嘉麻市の事を知らない人がいない	・町に活気がない	・外国人観光客がいる	・若い人の働くところ								
Ⅱ子育て高齢者への支援	・相談所、生活の中で困ったことを土曜や日曜も受け付けてくれる場所があること		・子どもが生みやすい、子育てしやす 地域で見守る	・教育推進	・子育てがしやすい環境をつくる（支援センターを置く、公園などの遊ぶ場所をつくる）		・公園（かほ）	・交流の場	・定住化を促進するための宅地分譲（賃貸住宅→分譲）	・広場	・集える広場	・3世代交流
	・高齢化率を下げるため少子化対策	・交通体系の充実（買い物、病院、通勤、通学）	・子どもと高齢者がふれあえる場所、機会	・高校生が高校に通学しやすくなるように（バスなど）	・若い世代の人や年寄りの人等が楽しめる町	・安全に自然と十分にふれあえる場所（公園等）	・ちょっとした公園	・老人が集まってお話したり簡単なゲームをしたりする場所（トランプ、だるまさんが転んだ）		・大きな病院をつくる	・保育園とかをつくれば待機児童が減る	・保育園など子育て支援の建物にしてほしい
	・孫たちが皆社会人となって結婚し孫の誕生	・交通の利便性（買い物等	・何か年寄りが元気	・保育園など増やしてほしい	・住環境の整備	・子育てサロンがたくさんある	・支所の隣に小さなテーマパークをつくる（遊園地）子ども連れの方でも支所に行きやすいから		・碓井庁舎に子育て、高齢者までが一体的に対応できる組織づくり			
	・子育ての環境日本一	・何かお母さんが元気										
Ⅲ教育や文化的な環境	・市内の高校を多く	・学力向上	・プロジェクトKの推進	・魅力ある自然、建造物の保存、利用	・校区を考え直す	・学びやすい環境を地域でつくる	・大学が欲しい	・流れるプールをつくる（室内）	・美術館の企画展にアンパンマンの原画や仮面ライダーのスーツ等を展示して子どもたちに行きたいと思っていただく。		・運動場をつくるまたは体育館	・雨が降っても行きやすいように屋根つきの駐車場をつくる
	・子どもがいっぱい遊べる場所をつくって欲しい	・学校やお店系が少ないので人口が減るので高校大学をつくったりして学力を上げると人が集まるので人口が増える		・子どもが多くスポーツなどが活気あふれる市	・市民がもっと他県の流れを見る	・何か中学生が元気	・駐車場は立体駐車場にする	・陸上競技場の設置トラック（400m）青	・市民の集いの場	・子どもが遊べるように体育館などをつくる	・碓井庁舎周辺の箱物を活かした教育環境づくり	・嘉麻市のみんなが集まれるような公民館
	・プロスポーツ選手が出る	・ノーベル賞受賞者が出る	・ギネスの記録が100個	・もっともっと行事を増やしてほしい			・もっと大きな図書館にしてほしい	・体育館とかボーリング場をつくる	・文化ホール（稲築町庁舎跡）			
Ⅳ生活環境	・嘉麻市の中学校（小学校）が有名になる（スポーツ、学力）	・本物が鑑賞できる	・川がきれいに	・大型ショッピングセンターがある町	・駅がある町	・駅がある町（電車）	・地域内でも地域外の人とでも交流できる場所（サロンのような開放的さ）		・大型商業施設 ・交通体系の充実・地域の人との交流		・行政主体でのアパート運営	・若者定住化（庁舎跡地利用）
	・通学、通院、買い物等への交通機関の充実	・交通体系の充実	・新たな商店街	・もともとの地球になる（嘉麻市は人間も動物も一緒に暮らす）		・水がきれいなまちであってほしい	・自然を利用した公園	・健康相談室、血圧、体重、食生活改善相談	・県外、市外の人の休憩所 おもてなしの場所	・有名な（行列ができる）スイーツ店orパン屋	・スポーツ店（ヒマラヤ）	・ショッピングセンター
	・若い方が住みやすい環境づくり	・交通の便が良い市	・川や山がゴミのないきれいな場所	・駅があって欲しい	・移動販売を行って欲しい	・遠賀川の水質がもっとよくなる	・カラオケのような施設が少ない	・雨の日でも練習できるような屋内施設	・店（碓井）	・自然を活かしたお洒落なシェアハウスができる住宅		・公園を造って欲しい
	・嘉麻市のみんなで行うゴミ拾い活動をたくさんする		・街灯をもっと増やしてほしい				・スーパーなどの店を設置	・市民の憩いの場を作る（銭湯等）	・碓井庁舎周辺の宅地開発を進め住みよいマチづくり		・ご飯がおいしいから飲食店	・スターバックスがほしいカフェ
							・色々な運動ができる場所 プール スケート		・ものすごく高いビルをつくる			
Ⅴ市民と協働のまちづくり	・人口減少がストップ（増える）	・人口が増えて今よりもっと活気ある町に	・交流人口増加	・人と金が少なくなるため人と人との繋がりのあるまち、コオーディネーション		・市民の協力	・支所を減らす スーパーや地域の公民館に自動で住民表の取れる機械を設置する		・地区対抗の運動会			
	・市民ボランティアが多くなれば											
その他	・かましんちゃんを全国に売り出したり外国に売り出す	・嘉麻市だけにしかない「何か」「魅力」PR										



〒820-0592
福岡県嘉麻市上臼井446番地1
嘉麻市役所　庁舎・交通体系対策室
Tel　0948-62-5677　FAX　0948-62-5018

写

平成２９年１１月３０日

嘉麻市長　赤 間 幸 弘　様

嘉麻市山田地域整備協議会
会　長　　村　上　曙　生

嘉麻市地域整備基本計画（案）等に関する答申について

平成２９年６月３０日付け、２９嘉地第１５８号にて貴職から諮問のありました事項に関し、本協議会において慎重に協議を行った結果、下記のとおり答申します。

なお、協議の資料等については、別添「協議会参考資料」の通りです。

記

【協議結果】

１　山田地域の地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること

・支所設置付近である山田生涯学習館や近隣施設等と一体化したコンパクトなまちづくりを目標に地域整備を行うこと。
・子育て、定住促進拠点としてのまちづくりを目指し、様々な手法を用いながら住みたいと思えるような地域整備を行うこと。

２　山田地域の庁舎周辺地域の整備方針及び支所のあり方に関すること

（１）整備方針について

・山田庁舎については、建物の老朽化や耐震性を考慮し、除却することを前提とした活用を検討すること。
・活用については民間譲渡区画として、分譲宅地や商業、高齢者用施設等としての活用として一定期間の公募を行い、民間活力の導入を図ること。
・公募がなかった場合は、分譲宅地や多目的広場、高齢者用施設等を想定した整備等を検討すること。

（２）支所のあり方について

・支所は山田生涯学習館と連携できるよう、雨避けを設置するなど容易に行き交いできることや、多目的トイレを共用するなど相互に補完できる施設を検討すること。

・ 支所の規模は諸証明の発行や簡易な申請及び相談、また地域振興やコミュニティ拠点として、職員１５人（正規職員数は１０人）が勤務できる執務室、期日前投票や各公共団体が使用できる会議室、防災資機材を置くことができるスペースを持つ施設とすること。
・ 災害対策本部が設置された場合、地域対策支部として災害対策本部と連携を取りながら補完的な活動を行い、物資備蓄機能と情報収集伝達機能を確保できる施設とすること。
・ ユニバーサルデザインに準じた、市民の利用しやすい支所とすること。

３　その他附帯意見

・ 定住促進に向け、交通利便性の向上を図ること。
・ 支所設置の際は近隣住民に十分配慮すること。
・ 支所設置に伴い減少する駐車場については、周辺施設との連携活用を検討すること。
・ 旧山田高等学校跡地について関係団体と協議し、利活用について検討すること。

【協議会経過及び開催状況】

（１）第１回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時　平成２９年６月３０日（金）　１９：００～２０：３０

各地域整備協議会と合同会議を実施、その後山田地域整備協議会を開催した。

＜協議概要＞

委員へ委嘱書の交付を行った。村上会長及び山藤副会長が選任された。

会長及び各委員に諮問を行い、スケジュールや協議内容の通知を行った。

（２）第２回 嘉麻市山田地域整備協議会（合同視察）

日時　平成２９年７月２７日（木）　８：３０～１７：００

各地域整備協議会合同で熊本県玉名市に視察を行った。

＜視察内容＞

・玉名市文化センターで玉名市公共施設マネジメントの取組状況について説明を受け、質疑応答を行った。

・天水地域の視察。天水支所や公民館等を天水保健センターふれあい館へ機能移転する等の説明を受け、質疑応答を行った。

・横島地域の視察。横島支所、公民館、保健福祉センターが同一の敷地内に建設されており、現状についての説明を受け、質疑応答を行った。

・玉名市新庁舎の見学。議場で新庁舎建設の説明を受け、４階から１階まで下りながら各階の説明を受け、質疑応答を行った。

（３）第３回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時　平成２９年８月４日（金）　１９：００～２０：５０

＜報告事項＞

・第２回 嘉麻市地域整備協議会合同視察の報告。

・まちづくりの将来像に関する市民説明会の報告。

＜協議事項＞

・資料５について

⇒支所のあり方や機能について協議を行った。

・諮問について

⇒高齢者に目を向けた対応を検討してもいいのではないかといった意見や、山田のいいところを意識した跡地の利活用や、新しい山田らしさを見出したシナリオ作りが必要ではないかといった意見が出た。

（４）第４回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時　平成２９年９月１日（金）１９：００～２０：２０

＜協議事項＞

・第１回の会議録の承認について

⇒協議会内で承認された。

・支所の位置について協議を行った。

⇒山田生涯学習館敷地の案で概ね決定し、その他案との比較をすることとした。

・山田庁舎跡地の利活用について協議を行った。

⇒山田庁舎については全委員、除却で合意した。

⇒跡地活用の方向性については次回会議で決定することとした。

（５）第５回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時　平成２９年１０月６日（金）１９：００～１９：４５

＜報告事項＞

第２回 嘉麻市地域整備協議会連絡調整会議の報告。

＜協議事項＞

・第３回の会議録の承認について

⇒協議会内で承認された。

・支所の位置及び具体的な利活用について協議を行った。

⇒協議会案は山田生涯学習館横に決定した。

⇒山田生涯学習館と連携できるような工夫をしてほしい。

・庁舎敷地の具体的な利活用（案）について

⇒庁舎敷地の利活用は民間活力を活用することで一致した。

（６）第６回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時　平成２９年１１月２日（木）１９：００～２０：１０

＜協議事項＞

・第４回の会議録の承認について

⇒協議会内で承認された。

・嘉麻市地域整備基本計画（案）等に関する答申について（案）

⇒内容は概ね合意し、修正を行った後各委員に配布することで一致した。

（７）第７回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時　平成２９年１１月３０日（木）１９：００～１９：３０

＜協議事項＞

・第５回の会議録の承認について

⇒協議会内で承認された。

＜答申＞

・村上会長より市長へ答申が行われた。

【協議会委員名簿】

区　分	団　体　名	氏　名	備考
1 号委員	近畿大学産業理工学部	井　原　　徹	
2 号委員	山田地区行政区長会	村 上　　曙 生	会長
	山田地区行政区長会	山藤　やす子	副会長
	嘉麻市教育委員会	佐 竹　　正 利	
	嘉麻市 PTA 連合会	松 岡　　広 樹	
	株式会社　福岡銀行	石 崎　　聖 尚	
	嘉麻商工会議所	白 金　　聖 臣	
	嘉麻市観光まちづくり協会	廣 瀬　　公 彦	
	嘉麻市子ども会指導者連合会	伊 藤　　文 聡	
	かま男女共同参画推進ネットワーク	深　町　　晴	
3 号委員	公募委員	古 賀　　稲 子	
	公募委員	髙 倉　香代子	

福岡県立山田高等学校跡地に関する検討の経過

資料9

H19.3 山田高等学校閉校

H19.11 県立高校跡地等利用庁内検討委員会（資料5）

H20.3 嘉麻赤十字病院との協議開始

H21.5～9 嘉麻赤十字病院の充実と旧山田高等学校跡地の医療的活用に関する請願書が提出され採択される

H24.11 嘉麻赤十字病院の建替え存続を求める要請書（資料6）

H29.2 嘉麻赤十字病院より移転断念の報告

H29.6 嘉麻市山田高等学校跡地整備検討委員会設置

H30.2 福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会設置

（地域整備関連）

H28.10 「支所のあり方、庁舎資産の活用方法」ワークショップの実施（資料7）

H29.12 地域整備協議会答申（資料8）

資料10

《福岡県立山田高等学校跡地 現地視察について》

委員氏名	現地視察日程確認表			
	4月21日（土） １０時~１２時	4月22日（日） １０時~１２時	4月23日（月） １０時~１２時	4月24日（火） １０時~１２時
井原　徹				
三舩　國弘				
飯島　高雄				
村上　曙生				
山根　國治				
武谷　節夫				
中村　博美				
冨金原　健三				
木山　淳一				
加藤　結花				
岸本　麻衣子				
美林　純子				

※　空欄に〇、✕をご記入下さい。

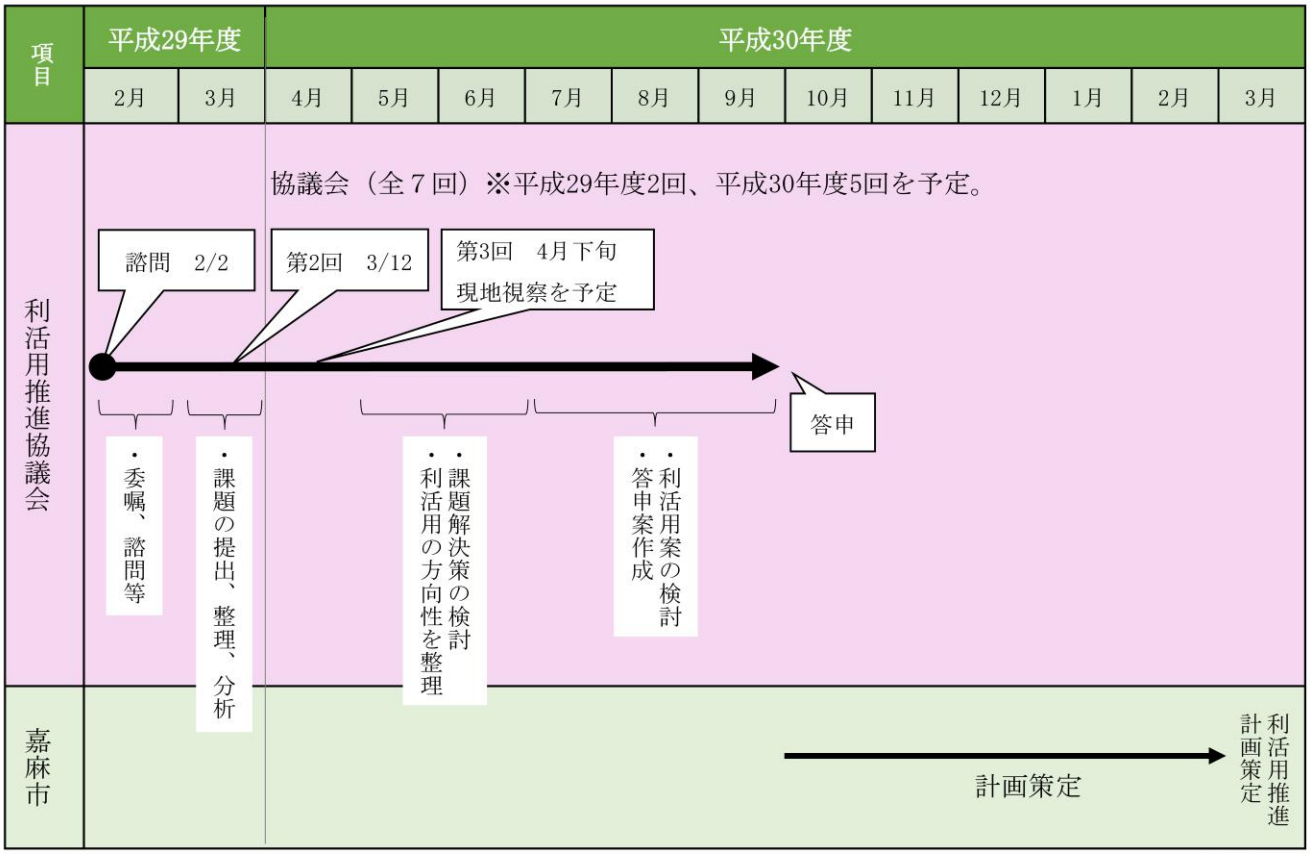
【 第3回 福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会 】

・日時　　：平成30年４月　　日（　）　１０時～１２時
・集合場所：碓井庁舎 ３階　委員会室３
・持ち物　：ヘルメット、マスク、軍手、ライト、飲み物（事務局で準備いたします。）
・服装　　：動きやすく汚れても大丈夫なもの、安全な運動靴
・その他　：視察を希望する箇所や質問内容などは予めご連絡下さい。

資料11

福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会 開催予定日時

	開催予定日時	場所	備考
第１回	２月2日 （金）19時~	碓井庁舎	・委員委嘱・諮問
第２回	3月12日 （月）19時~	碓井庁舎	
第３回	４月 日 （ ）10時~	現地	・現地視察(予定)
第４回	５月15日（火）19時~	碓井庁舎	
第５回	６月19日（火）19時~	碓井庁舎	
第６回	８月21日（火）19時~	碓井庁舎	
第７回	９月18日（火）19時~	碓井庁舎	・答申（予定）



第２回協議会における課題点及び提案内容

資料12

【具体案】

〇淡水魚センター。日田市の淡水魚センターを調査する。
〇農業用地として利用し、嘉麻の「麻」にちなんで、神事等で使用される商業用の麻を栽培してはどうか。嘉麻市のブランドとして発信できる。
〇野菜工場のような雇用が生まれる場を作ってもらいたい。
〇刑務所等の国営の施設を誘致する。
〇サルビアパークに遠くからマーチングの練習に来ている。体育館が使えるのであれば、貸出等をしてはどうか？
〇介護マンション、高齢者マンション。
〇嘉麻市イコール何々みたいな、「嘉麻市のイメージ」や「嘉麻市のブランド」となるもの作っていく。
〇雇用が生まれるものがいいと考える。セカンドベストとしては、災害拠点や倉庫のような雇用は発生しにくいが、ものとお金が地域に落ちるようなものと考える。
〇複合的な、色々なものを組み合わせた形の利活用がいいと思う。研修、宿泊、農業、医療、介護等。
〇日赤は日本のブランドであり、現在、日本のブランドがこの地域にあることは、地域の宝である。どうにかして建て替えができないか。災害拠点病院や備蓄基地としての機能を持たせることで、日赤が建て替わった例がある。
〇予防医療等で日赤と関連性を持った施設にすれば、日赤が建て替わる可能性があるのでは？
〇緊急避難所、防災用の資材置き場。

第２回協議会における課題点及び提案内容

資料12

【その他】

○通り道ではないので、商業地としては難しいかと思う。
○福岡、北九州、久留米どこにも約1時間で行ける。県全体で見たら、立地は悪くないのではないか。
○グラウンドに穴が開いているので住宅地の分譲は難しいのではないかと考える。
○学校の建物は60歳を超えて70歳になる。建物は全くだめ。早く壊した方がいい。体育館についても、あと20年あるかどうかで、長くはもたない。
○学校が古くて使えないのならば、早く壊すべきだ。ただ、市が取り壊しを行うとすればすごくお金がかかるので、みんなで県に陳情に行ったらどうか。
○ミクロ的な視点から、山田地域に何が必要か考える必要がある。マクロの視点からは、国や県の施設の建替え需要を引き込むことも有効であると考えます。
○北九州にあるリノベーションスクールという活動を参考にしてはどうか。
○山田地域のその他の観光の素材と関連しながらトータル的に考えていったらいいと思う。

【調査要望事項】

○土地の寄附をした経緯があると聞いたが、具体的にはどのようになっているのか？
○農業を行うには、水が必要であるが、地下水等は利用できないのか？地下水の分量は？
○日赤が現在の場所に建て替わる際、市民からの寄附、市からの資金提供とは別に、県からも資金が出たと聞いている。

【 福岡県立山田高等学校配置図 】

資料13

体育館

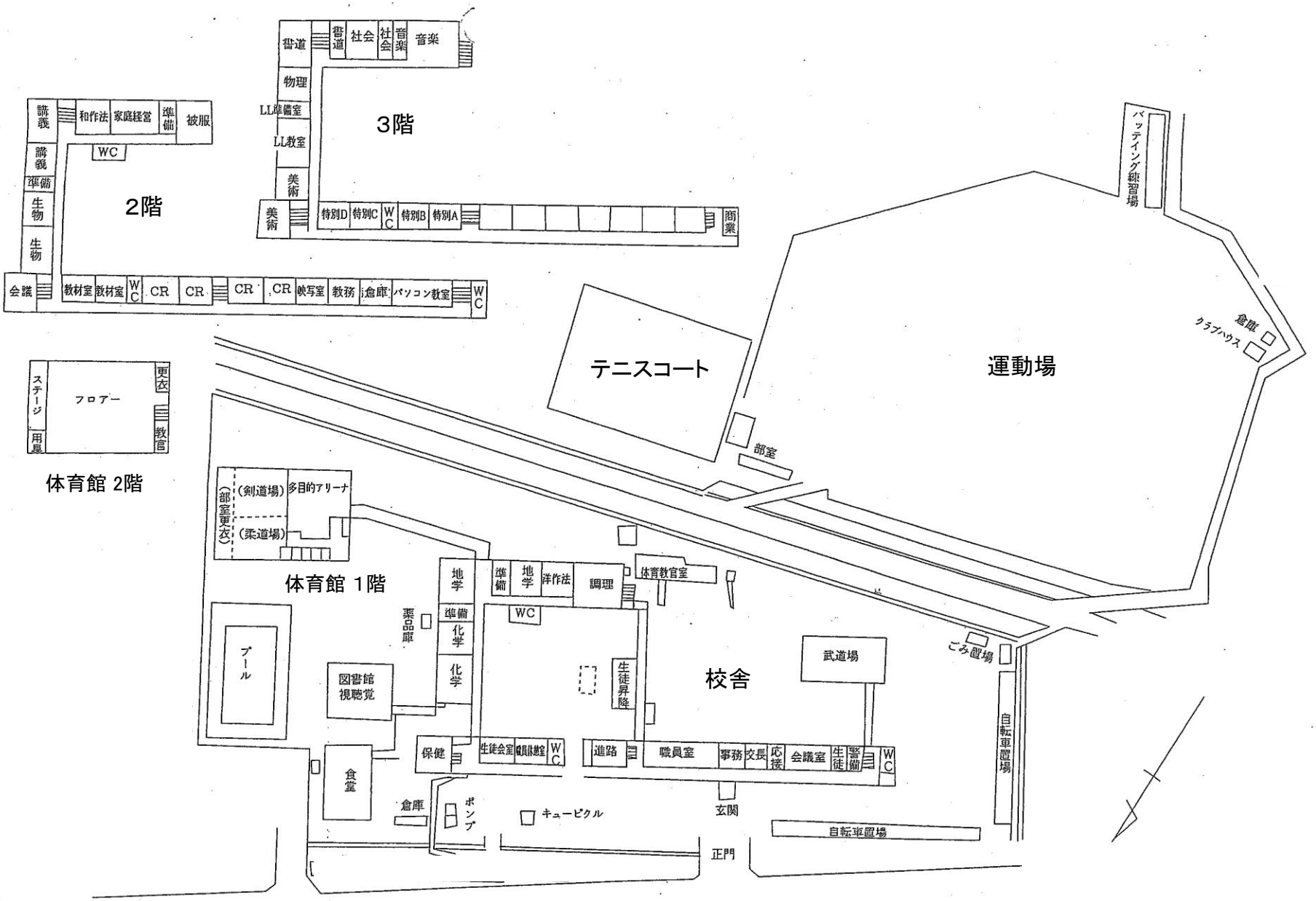
取付道路

グラウンド（陥没）

同窓会館

記念モニュメント

校舎

【 福岡県立山田高等学校建物配置図 】

資料13